



第4回  
学生生活実態調査  
2006年度

日本赤十字看護大学



## 第4回学生生活実態調査報告書の刊行にあたって

学務部長、学生委員会委員長

佐藤 眞

日本赤十字看護大学の「第4回学生生活実態調査報告書」が完成しました。本書は2006年に学生委員会が実施した調査の結果をまとめたものです。前回の調査が2000年でしたから、少し間隔が開いての実施となりました。

この間、本学はそれまでとは異なる大きな変化を経験しました。日本赤十字武蔵野短期大学との統合により、2005年4月から新たな日本赤十字看護大学としてスタートしました。この統合により、入学定員の増加と二つのキャンパスを持つという、経験したことのない状況を迎えました。本学の2005年4月の新1年生は134名となり、新入生は武蔵野キャンパスで大学生活の1年目を過ごすことになりました。

今回の調査には、統合後の最初の入学生を対象として含むことができました。武蔵野キャンパスの寮に住む学生、以前よりも増えた関東地域出身の学生、武蔵野キャンパスに増築された校舎、本調査時におよそ半分完成していた広尾の新校舎、広尾キャンパスにできた大学生協の売店と食堂、などの様々な変化が今後学生たちの生活にいろいろな影響を与えていくことと思われます。

1年次から広尾で学んできた学生と統合後の最初の学生を含む過渡期の調査となりましたが、本調査の結果を吟味することによって変化の兆しを捉え、学生にとってさらに学びやすい、暮らしやすい環境を提供できるように努力していきたいと思ひます。

本調査を実施し、その結果をまとめてくださった遠藤公久助教授、安達祐子助教授、川崎修一講師、森真喜子講師、そしてなによりも調査に協力してくれた学生たちに感謝します。



# 目 次

## 第4回学生生活実態調査報告書刊行にあたって

I 調査の目的と方法	1
1. 調査の目的	
2. 調査の方法	
1) 調査票	
2) 調査対象	
II 結果と考察	3
1. 住居について	
1) 住居形態	
2) 下宿の場合の住居	
3) アパート・マンションの場合の住居	
4) 住居の満足度	
2. 経済面について	9
1) 1ヶ月平均の総支出額	
2) 1ヶ月平均の食費	
3) 自宅外通学生の1ヶ月平均の住居費	
4) 1ヶ月平均の勉学費	
5) 1ヶ月平均の娯楽・嗜好品費	
6) 1ヶ月平均の習い事の費用	
7) 1ヶ月平均の通学費	
8) 1ヶ月平均の通信費	
9) 家族等からの1ヶ月平均の援助額	
10) 奨学金の受給状況	
3. アルバイトについて	19
1) アルバイト経験の有無	
2) アルバイト実施時期	
3) アルバイトの主な目的	

4) 授業期間中のアルバイト実施状況	
5) 長期休暇中のアルバイト実施状況	
4. 課外活動について	.....24
1) 加入している学内・外のクラブ及び同好会	
2) クラブ等の参加目的	
3) 夏期休暇中の主な行動	
4) 課外教育と学生の希望	
5. 生活時間について	.....29
1) 睡眠時間	
2) 学習時間	
3) 通学時間	
4) 自由時間	
5) 課外活動時間	
6. 健康状態について	.....34
1) 身体面の健康	
2) 精神面の健康	
7. 大学生活全般について	.....41
1) 本学選択理由	
2) 入学満足度	
3) 勉強の継続意向	
4) 大学生活の中で大切に思っていること	
5) 学生生活の充実度	
6) 大学に対する期待や要望	
8. 卒業後の進路について	.....45

附録（調査票）

# I. 調査の目的と方法

## 1. 調査の目的

本学が1986年に開学して以来、学生委員会は学生が正規教育以外の諸活動を通じて、より豊かな人間形成を計るために、学生の生活実態を把握することを目的にした全学部生(編入生を含む)を対象とした調査を実施してきた。これまで、第1回目の調査が1990年に実施され、その後第2回目(1996年)、第3回目(2001年)がそれぞれ報告書としてまとめられている。本調査は、前回(2001年)から5年間を経て実施された第4回目調査であり、この5年間における学生生活の推移を検討することを目的にした。

## 2. 調査の方法

### 1) 調査票

第3回目(2001年)の実態調査において用いられた質問項目を再度吟味し、現在の学生においてもその生活実態を適切に把握できると判断される項目はそのまま温存した。また、現在の学生の生活に合致しない項目は改訂し、新しい項目を追加するなどの検討を行った。その結果、質問は大きく12項目(細かくは63項目)から構成される調査票が作成された。質問内容は概ね以下のように構成されている。

- ①住居(質問1から2) : 住居の種類、住居状態と満足度など13項目
- ②経済面(質問3) : 学費や生活費など11項目
- ③アルバイト(質問4) : アルバイト状況についての9項目
- ④課外活動(質問5) : サークル、課外教育など10項目
- ⑤生活時間(質問6) : 睡眠時間、学習時間、通学時間など6項目
- ⑥健康状態(質問7から10) : 心身の健康状態と心理相談室利用状況など6項目
- ⑦大学生生活全般(質問11) : 本学選択の理由、学生生活の充実度、本学への希望や要望など6項目
- ⑧卒業後の進路(質問12) : 卒業後の進路について2項目
- ⑨フェイスシート : 学年と出身地

平成18年2月下旬に配布し、3月中旬までに回収された。質問紙は授業を通じて配布した。

### 2) 調査対象

調査対象は、本学の学部生1年生から4年生までの387名を対象に悉皆調査を実施した。回収率は、表I-1に示したように、1年生で59.4%、2年生で94.0%、3年生で一般学生が92.6%、編入3年生が73.3%、4年生で一般が65.0%で、編入4年生が89.7%であり、平均回収率は約75.5%であった。前回の71.1%よりも少し良くなっていた。特に2年生や3年生(一般)、また編入4年生の回収率が良かった。しかし一方で、1年生の回収率が悪いのが目立つ。この1年生から大学は短期大学と統合され、1学年の学生数も65人定員から130人定員へと大きく増員された。その結果、本調査に限らず、他の書類提出などにおいても、

なかなか足並みが揃えにくくなってきていることは確かなようである。1年生の回収率を上げるためには、後日回収という方法よりもその場で回収するほうがよいかもしれない。

表 I - 1 学年別からみた調査対象者の配布数、回収数、回収率

	配布数	回収数	回収率
1年	133	79	59.4
2年	67	63	94.0
3年	68	63	92.6
編入3年	30	22	73.3
4年	60	39	65.0
編入4年	29	26	89.7
合計	387	292	75.5

## Ⅱ 結果と考察

### 1. 住居について

#### 1) 住居形態

表1-1に示したように、回答の得られた285名（292名中7名不明）のうち、親元からの自宅通学者181名（63.5%）、親元から離れアパート・マンションで暮らす者81名（28.4%）、下宿生12名（4.2%）、その他として親戚宅あるいは学生会館に居住する者11名（3.9%）であった。

1999年3月をもって廃止となっていた学生寮が日本赤十字武蔵野短期大学との統合によって利用可能になった。学生寮は短期大学敷地内にあり、武蔵野キャンパスにおいて授業を受ける1年生にとっては便利な位置にある。学生寮の対象者は限定されていないが、おもに1年生が利用している。1年生で「その他」の回答率が高いのは、学生寮を挙げた結果ではないかと推察される。

一方、自宅通学者の割合も確実に増加している。1990年の調査では25%程度、1996年の調査では38%程度、2001年では63%程度であり、今回の調査とほぼ同じ結果であった。近年の地方都市での看護系大学の増加にともない、本学の入学生の出身地は関東近郊に集中しはじめてきたが、学生寮の利用可能になったことによって、自宅か寮かといった2極化の傾向が窺われる。

表1-1 現在の住居形態（学年別）

		自宅	下宿	アパート ・ マンション	その他	合計
学年	1年	50 64.1	10 12.8	9 11.5	9 11.5	78 100.0
	2年	46 75.4		14 23.0	1 1.6	61 100.0
	3年	47 77.0		14 23.0		61 100.0
	編入3年	6 27.3		16 72.7		22 100.0
	4年	22 59.5		14 37.8	1 2.7	37 100.0
	編入4年	10 38.5	2 7.7	14 53.8		26 100.0
合計	181 63.5	12 4.2	81 28.4	11 3.9	285 100.0	

#### 2) 下宿の場合の住居状況

表1-2は下宿をしている学生の住居について示している。下宿をしている学生は全体

からすると少なく、12名（4.2%）であった。そのなかで居住する間取りについては、4.5畳6名（50.0%）、6畳3名（25.0%）等であった。風呂、トイレ、台所についてはほとんどが共同利用である。食事については、2食付き10名、1食付き1名、食事なし1名であった。1年生にこの下宿と回答した学生が多かったことから、学生寮を下宿として回答した者もいた可能性が考えられる。

表1-2 下宿の住居環境別利用者数（学年別）

	間取り			風呂		トイレ		台所		食事		
	4.5畳	6畳	8畳	個人用がある	共同のものがある	個人用がある	共同のものがある	個人用がある	共同のものがある	2食付き	1食付き	食事は付かない
学年												
1年	5	3			10		10		10	10		
編入4年	1		1	1	1	1	1	1	1		1	1
合計	6	3	1	1	11	1	11	1	11	10	1	1

### 3) アパート・マンションの場合の住居状況

アパート・マンションに居住していると回答した者80名（81名中1名不明）のうち、一人暮らしの者68名（85.0%）、同居人がいる者12名（15.0%）であった。表1-3では、同居人の有無を学年別に示した。

アパート・マンションの間取りは、図1-1のとおりである。「ワンルーム」17名（21.3%）、「1K～1DK」50名（62.5%）、「2K～2LDK」7名（8.8%）、「3LDK以上」が6名（7.5%）であり、「1K～1DK」が最も多かった。

風呂の有無については、個人用の風呂がある者76名（95.0%）、共同のものがある者が4名（5.0%）であった。トイレについては77名（96.3%）が個人専用、3名（3.8%）が共用、キッチンは一を除く79名が個人用を有していた。

表1-4は居住するアパート・マンションの間取りを学年別に示したものである。概ねどの学年も1Kから1KDに集中しているが、編入4年生は他の学年よりも少し大きめな間取りが多かった。また、どの学年にも3LDK以上が1名ないし2名いるが、おそらくきょうだいなどとの共同生活が考えられる。

表1-3 アパート・マンションにおける同居人の有無（学年別）

		いる	いない	合計
学年	1年	1 11.1	8 88.9	9 100.0
	2年	3 23.1	10 76.9	13 100.0
	3年	2 14.3	12 85.7	14 100.0
	編入3年	2 12.5	14 87.5	16 100.0
	4年	1 7.1	13 92.9	14 100.0
	編入4年	3 21.4	11 78.6	14 100.0
合計		12 15.0	68 85.0	80 100.0

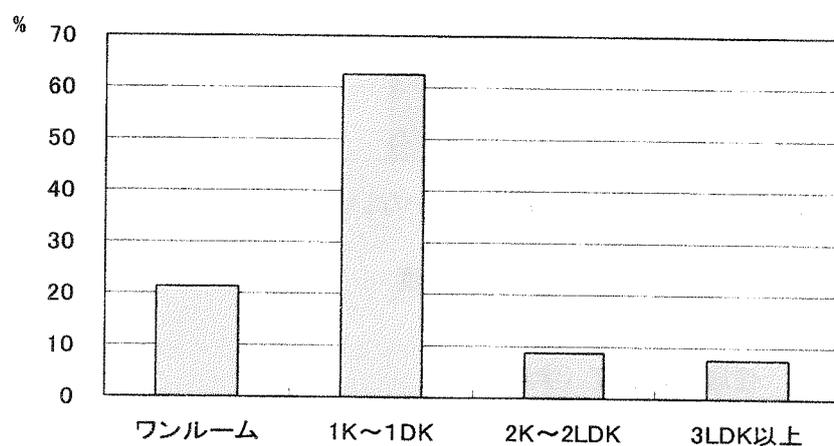


図1-1 アパート・マンションにおける間取り

表1-4 アパート・マンションにおける間取り（学年別）

		ワンル ム	1K~1 DK	2K~ 2LDK	3LDK以 上	合計
学年	1年	1 11.1	7 77.8		1 11.1	9 100.0
	2年	1 7.7	9 69.2	2 15.4	1 7.7	13 100.0
	3年	3 21.4	8 57.1	1 7.1	2 14.3	14 100.0
	編入3年	2 12.5	12 75.0	1 6.3	1 6.3	16 100.0
	4年	5 35.7	9 64.3			14 100.0
	編入4年	5 35.7	5 35.7	3 21.4	1 7.1	14 100.0
合計		17 21.3	50 62.5	7 8.8	6 7.5	80 100.0

#### 4) 住居の満足度

現在の住居に関する満足度については図1-2のように、「満足している」165名（57.7%）、「満足していない」84名（29.4%）の順に多く、「どちらともいえない」37名（12.9%）であった。表1-5は学年別に住居の満足度を示したものである。学年があがるほど満足度が低い傾向が窺える。

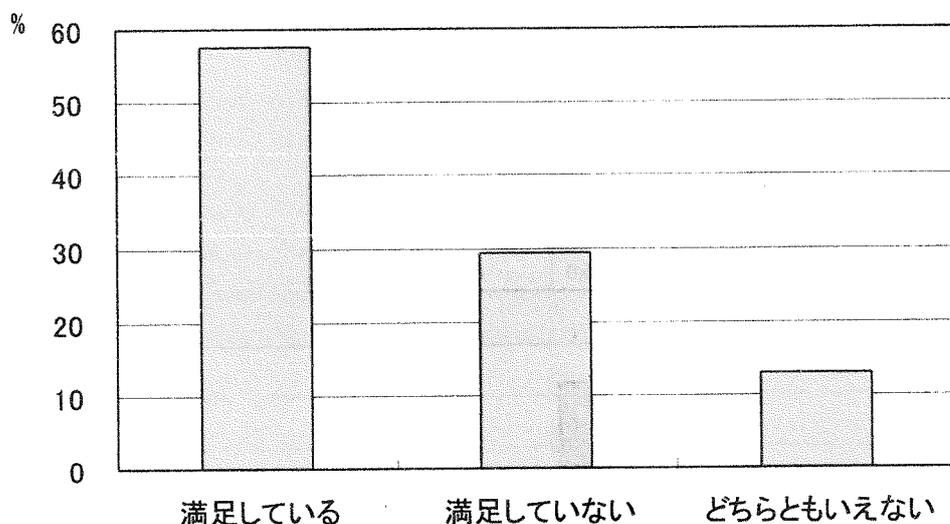


図1-2 住居の満足度

表1-5 住居の満足度（学年別）

		満足して いる	満足して いない	どちらと もいえない	合計
学 年	1年	57 74.0	10 13.0	10 13.0	77 100.0
	2年	29 48.3	20 33.3	11 18.3	60 100.0
	3年	35 55.6	23 36.5	5 7.9	63 100.0
	編入3年	11 50.0	8 36.4	3 13.6	22 100.0
	4年	16 42.1	16 42.1	6 15.8	38 100.0
	編入4年	17 65.4	7 26.9	2 7.7	26 100.0
合 計		165 57.7	84 29.4	37 12.9	286 100.0

満足していない理由として回答の多かった順に挙げると（複数回答）、有効回答数84名のなかで、「学校から遠い」53名（63.1%）、「狭い」27名（32.1%）、「築年数が古い」18名（21.4%）となっていた（図1-3）。「その他」は24%と高かった。ここで挙げら

れた理由には、「親がうるさい」「プライバシーがない」「駅から遠い」「インターネットが使えない」「日当たりが悪くて寒い」などがあつた。住居に満足していない理由を学年別にみると（表1-6）、編入生は、「家賃が高い」「狭い」「築年数が古い」と理由が多岐にわたっていた。その理由として、編入生が卒業した短期大学や看護専門学校、就業していた医療施設等には寮を設置しているところが多く、住居費等が比較的安価であつたことなどが住居に対する不満感に影響しているのではないかと思われる。表1-7は住居形態別にみた満足度について示した。住居形態における差異はほとんど認められず、類似した結果であつた。

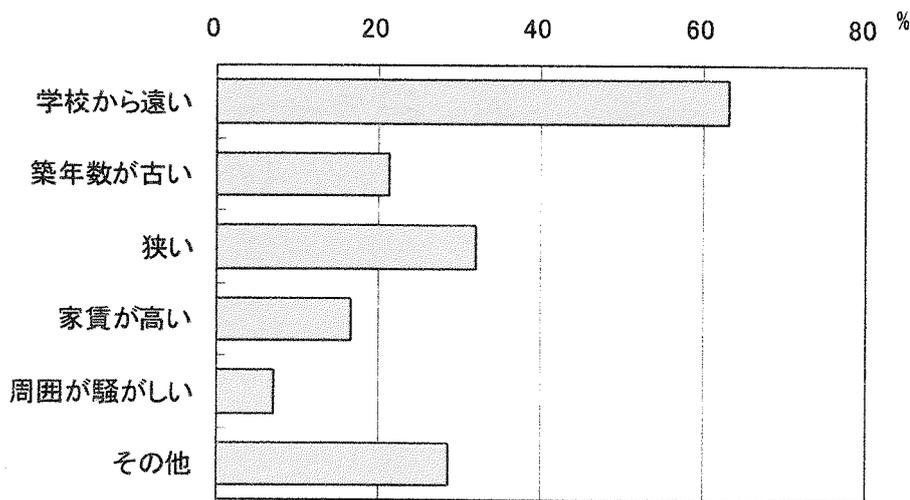


図1-3 住居に満足していない理由（複数回答）

表1-6 住居に満足していない理由（学年別：複数回答）

		学校から 遠い	築年数 が古い	狭い	家賃が 高い	周囲が 騒がしい	その他	合計
学年	1年	6 60.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0		4 40.0	10 100.0
	2年	16 80.0	4 20.0	3 15.0	1 5.0		2 10.0	20 100.0
	3年	15 65.2	3 13.0	6 26.1	2 8.7	1 4.3	7 30.4	23 100.0
	編入3年	4 50.0	4 50.0	6 75.0	3 37.5	1 12.5	4 50.0	8 100.0
	4年	10 62.5	3 18.8	5 31.3	3 18.8	2 12.5	5 31.3	16 100.0
	編入4年	2 28.6	3 42.9	4 57.1	4 57.1	2 28.6	2 28.6	7 100.0
合計		53 63.1	18 21.4	27 32.1	14 16.7	6 7.1	24 28.6	84 100.0

表 1 - 7 住居への満足度（住居形態別）

		満足して いる	満足して いない	どちらと もいえな い	合計
現在の住居形態	自宅	107 59.1	52 28.7	22 12.2	181 100.0
	下宿	5 50.0	3 30.0	2 20.0	10 100.0
	アパート・マンション	46 58.2	23 29.1	10 12.7	79 100.0
	その他	5 45.5	3 27.3	3 27.3	11 100.0
合計	163 58.0	81 28.8	37 13.2	281 100.0	

## 2. 経済面について

### 1) 1ヶ月の平均総支出額

学校納付金を除く1ヶ月の平均総支出額について、平均金額をみると多い順に「3～6万円未満」101名（35.8%）、次いで「6～9万円未満」74名（26.2%）が突出しており、両者で全体の約62%を占めていた。前回の調査では、「3万円未満」が約24%いたのに対して、今回は5%程度であったのは、物価の上昇を意味しているのであろうか。また、なかには30万円を越える人が6名（2.1%）もおり、そのうち、1年生が3名もいるのには驚かされる。彼（女）らはどのような生活をしているのか疑問になる（図2-1）。

学年別に比較してみると、表2-1のようになり、高学年になるほど総支出額が上昇している傾向が見受けられる。1ヶ月の平均総支出額を自宅通学者と自宅外通学者にわけて比較してみると、図2-2、表2-2のとおりである。自宅通学者の場合「3～6万円未満」が85名（48.5%）と最も多く、自宅外通学者では「15～18万円未満」25名（25.3%）と「12～15万円未満」23名（23.2%）の順であった。自宅通学者に比べ、自宅外通学者では1ヶ月平均総支出額において個人差が大きいことがわかる。

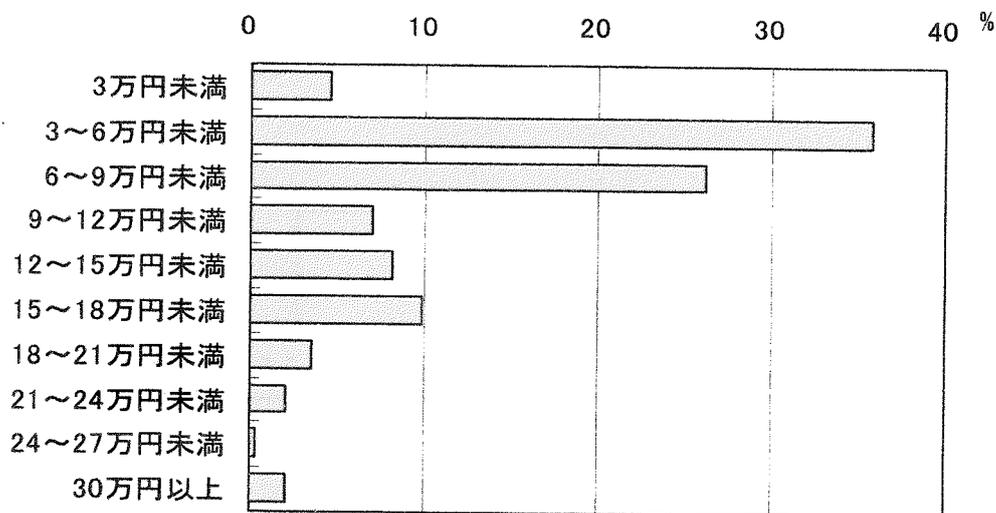


図2-1 1ヶ月の平均総支出額

表2-1 1ヶ月の平均総支出額（学年別）

		1年	2年	3年	編入3年	4年	編入4年	合計
1ヶ月の総支出額	3万円未満	7 9.3	2 3.2	2 3.4		1 2.6	1 3.8	13 4.6
	3~6万円未満	33 44.0	28 45.2	21 36.2	2 9.1	10 25.6	7 26.9	101 35.8
	6~9万円未満	20 26.7	13 21.0	22 37.9	5 22.7	11 28.2	3 11.5	74 26.2
	9~12万円未満	2 2.7	5 8.1	4 6.9	4 18.2	3 7.7	2 7.7	20 7.1
	12~15万円未満	7 9.3	3 4.8	1 1.7	5 22.7	3 7.7	4 15.4	23 8.2
	15~18万円未満	3 4.0	5 8.1	5 8.6	1 4.5	9 23.1	5 19.2	28 9.9
	18~21万円未満		3 4.8	2 3.4		2 5.1	3 11.5	10 3.5
	21~24万円未満		2 3.2		3 13.6		1 3.8	6 2.1
	24~27万円未満			1 1.7				1 0.4
	30万円以上	3 4.0	1 1.6		2 9.1			6 2.1
合計	75 100.0	62 100.0	58 100.0	22 100.0	39 100.0	26 100.0	282 100.0	

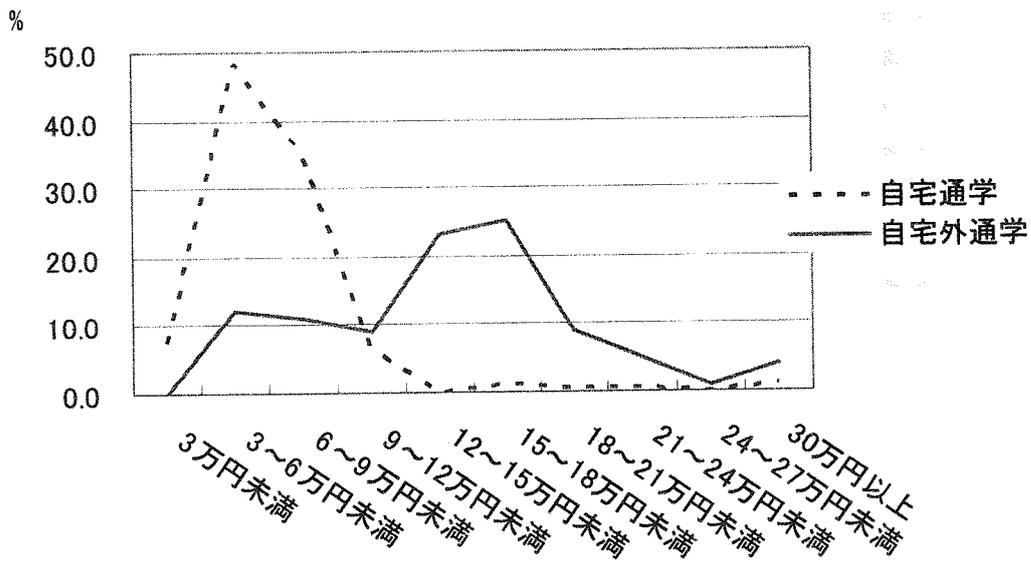


図2-2 1ヶ月の平均総支出額（通学別）

表 2-2 1ヶ月の平均総支出額（通学別）

		自宅通 学	自宅外 通学	合計
1 ヶ 月 の 総 支 出 額	3万円未満	13 7.4		13 4.7
	3~6万円未満	85 48.3	12 12.1	97 35.3
	6~9万円未満	61 34.7	11 11.1	72 26.2
	9~12万円未満	11 6.3	9 9.1	20 7.3
	12~15万円未満		23 23.2	23 8.4
	15~18万円未満	2 1.1	25 25.3	27 9.8
	18~21万円未満	1 0.6	9 9.1	10 3.6
	21~24万円未満	1 0.6	5 5.1	6 2.2
	24~27万円未満		1 1.0	1 0.4
	30万円以上	2 1.1	4 4.0	6 2.2
合 計	176 100.0	99 100.0	275 100.0	

2) 1ヶ月の平均食費

1ヶ月の平均食費（自宅通学生の場合には外食費）は、「1~2万円未満」108名（37.1%）、「1万円未満」76名（26.1%）、「2~3万円未満」45名（15.5%）の順に多かった（表2-3）。

表 2-3 1ヶ月の平均食費（学年別）

		1万円未 満	1~2万 円未満	2~3万 円未満	3~4万 円未満	4~5万 円未満	5万円以 上	合計
学 年	1年	33 42.3	30 38.5	5 6.4	6 7.7	3 3.8	1 1.3	78 100.0
	2年	12 19.0	31 49.2	10 15.9	4 6.3	5 7.9	1 1.6	63 100.0
	3年	18 28.6	19 30.2	16 25.4	6 9.5	3 4.8	1 1.6	63 100.0
	編入3年	2 9.1	10 45.5	3 13.6	2 9.1	2 9.1	3 13.6	22 100.0
	4年	6 15.4	11 28.2	7 17.9	11 28.2	4 10.3		39 100.0
	編入4年	5 19.2	7 26.9	4 15.4	4 15.4	6 23.1		26 100.0
合 計	76 26.1	108 37.1	45 15.5	33 11.3	23 7.9	6 2.1	291 100.0	

これらを自宅通学者と自宅外通学者と比較してみると、表2-4に示すように自宅通学者では「1～2万円未満」81名（44.8%）と最も多く、自宅外通学者の場合には「3～4万円未満」28名（27.2%）、「1～2万円未満」26名（25.2%）の順であった。

表2-4 1ヶ月の平均食費（通学別）

		1万円未満	1～2万円未満	2～3万円未満	3～4万円未満	4～5万円未満	5万円以上	合計
通学別	自宅通学	65 35.9	81 44.8	25 13.8	4 2.2	4 2.2	2 1.1	181 100.0
	自宅外通学	8 7.8	26 25.2	19 18.4	28 27.2	18 17.5	4 3.9	103 100.0
合計		73 25.7	107 37.7	44 15.5	32 11.3	22 7.7	6 2.1	284 100.0

### 3) 自宅外通学生の1ヶ月の平均住居費

回答の得られた自宅学通学者102名（103名中1名不明）の家賃、光熱水道費を含む1ヶ月の平均住居費は表2-5、図2-3のとおりである。「7～9万円未満」32名（31.4%）、「3万円未満」17名（16.7%）、「9～11万円未満」16名（15.7%）の順に多かった。「3万円未満」が多かったのは、そのなかに1年生の学生寮入居者が含まれているためであると考えられる。

表2-5 1ヶ月の平均住宅費（学年別）

		3万円未満	3～5万円未満	5～7万円未満	7～9万円未満	9～11万円未満	11万円以上	合計
学年	1年	12 46.2	6 23.1	3 11.5	3 11.5	2 7.7		26 100.0
	2年		1 6.3	3 18.8	6 37.5	2 12.5	4 25.0	16 100.0
	3年	1 8.3		1 8.3	5 41.7	2 16.7	3 25.0	12 100.0
	編入3年	3 18.8	2 12.5	3 18.8	2 12.5	3 18.8	3 18.8	16 100.0
	4年		1 6.3	2 12.5	8 50.0	5 31.3		16 100.0
	編入4年	1 6.3	2 12.5	2 12.5	8 50.0	2 12.5	1 6.3	16 100.0
合計		17 16.7	12 11.8	14 13.7	32 31.4	16 15.7	11 10.8	102 100.0

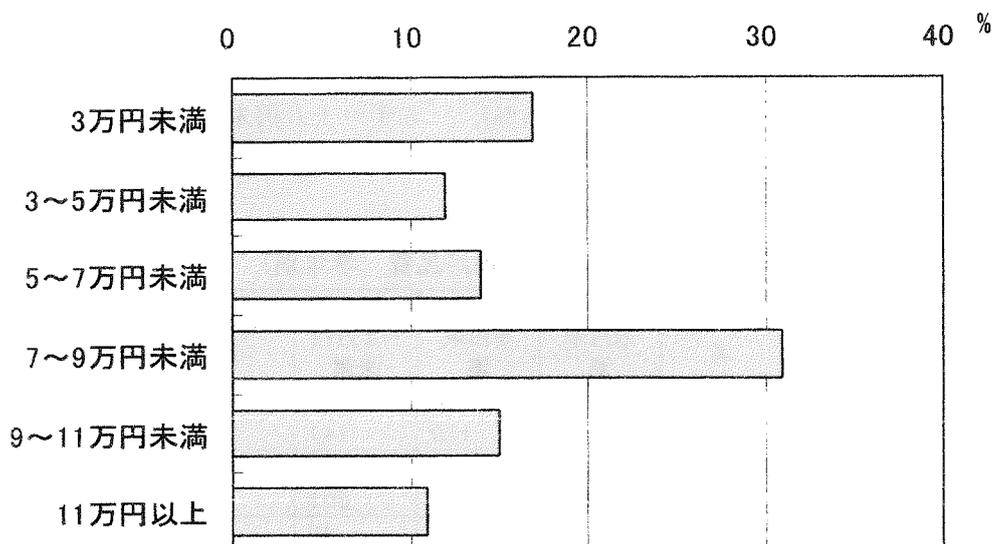


図 2-3 自宅外通学者の住居費

4) 1ヶ月の平均勉学費

学納金を除いた書籍、文具、コピー等に要する1ヶ月の平均勉学費は、回答数の多かった順に「5千円未満」186名(64.1%)、「5千~1万円未満」85名(29.3%)で9割以上が1万円未満であった(表2-6)。これらの勉学費を学年別にみると、学年が上がるにしたがって勉学費も高くなる傾向がみられる。

表 2-6 1ヶ月の平均勉学費(学年別)

		5千円未満	5千~1万円未満	1~1万5千円未満	1万5千~2万円未満	2万円以上	合計
学年	1年	65 83.3	10 12.8	3 3.8			78 100.0
	2年	45 72.6	13 21.0	3 4.8	1 1.6		62 100.0
	3年	39 61.9	23 36.5	1 1.6			63 100.0
	編入3年	8 36.4	9 40.9	2 9.1	1 4.5	2 9.1	22 100.0
	4年	14 35.9	20 51.3	2 5.1	2 5.1	1 2.6	39 100.0
	編入4年	15 57.7	10 38.5		1 3.8		26 100.0
	合計	186 64.1	85 29.3	11 3.8	5 1.7	3 1.0	290 100.0

5) 1ヶ月の平均娯楽・嗜好品費

煙草、酒、レジャー等を含む1ヶ月の平均娯楽・嗜好品費の平均金額は、回答数の多かった順に、「1～1万5千円未満」86名(29.6%)、「5千～1万円未満」61名(21.0%)、「2万円以上」56名(19.2%)となっていた(表2-7)。個人差の大きい分布である。

表2-7 1ヶ月の平均娯楽・嗜好品費(学年別)

		5千円未満	5千～1万円未満	1～1万5千円未満	1万5千～2万円未満	2万円以上	合計
学年	1年	17 21.8	25 32.1	14 17.9	11 14.1	11 14.1	78 100.0
	2年	8 12.7	8 12.7	22 34.9	13 20.6	12 19.0	63 100.0
	3年	6 9.5	13 20.6	17 27.0	10 15.9	17 27.0	63 100.0
	編入3年	1 4.5	2 9.1	9 40.9	5 22.7	5 22.7	22 100.0
	4年	4 10.3	8 20.5	13 33.3	6 15.4	8 20.5	39 100.0
	編入4年	2 7.7	5 19.2	11 42.3	5 19.2	3 11.5	26 100.0
合計		38 13.1	61 21.0	86 29.6	50 17.2	56 19.2	291 100.0

6) 1ヶ月の習い事の平均費用

1ヶ月の習い事に要する平均費用は、5千円未満197名(74.9%)、5千～1万円未満36名(13.7%)、1～1万5千円未満14名(5.3%)であった(表2-8)。

表2-8 1ヶ月の習い事の平均費用(学年別)

		5千円未満	5千～1万円未満	1～1万5千円未満	1万5千～2万円未満	2万円以上	合計
学年	1年	59 81.9	8 11.1	3 4.2	1 1.4	1 1.4	72 100.0
	2年	38 71.7	9 17.0	3 5.7	1 1.9	2 3.8	53 100.0
	3年	41 74.5	7 12.7	2 3.6	2 3.6	3 5.5	55 100.0
	編入3年	12 54.5	4 18.2	1 4.5	1 4.5	4 18.2	22 100.0
	4年	27 75.0	4 11.1	4 11.1		1 2.8	36 100.0
	編入4年	20 80.0	4 16.0	1 4.0			25 100.0
合計		197 74.9	36 13.7	14 5.3	5 1.9	11 4.2	263 100.0

7) 1ヶ月の平均通学費

1ヶ月の平均通学費は、「5千～1万円未満」85名(29.3%)、「1～1万5千円未満」67名(23.1%)、「5千円未満」57名(19.7%)の順に多かった(表2-9)。図2-4に自宅通学者と自宅外通学者別の通学費を示した。自宅通学者の10%以上に「2万円以上」の通学費を要する者がいることがわかる。

表2-9 1ヶ月の平均通学費(学年別)

		0円	5千円未満	5千～1万円未満	1～1万5千円未満	1万5千～2万円未満	2万円以上	合計
学 年	1年	9 11.5	17 21.8	17 21.8	17 21.8	11 14.1	7 9.0	78 100.0
	2年	3 4.8	11 17.5	21 33.3	14 22.2	9 14.3	5 7.9	63 100.0
	3年	9 14.5	7 11.3	15 24.2	22 35.5	4 6.5	5 8.1	62 100.0
	編入3年	5 22.7	2 9.1	11 50.0	3 13.6		1 4.5	22 100.0
	4年		12 30.8	11 28.2	7 17.9	5 12.8	4 10.3	39 100.0
	編入4年	3 11.5	8 30.8	10 38.5	4 15.4		1 3.8	26 100.0
合計		29 10.0	57 19.7	85 29.3	67 23.1	29 10.0	23 7.9	290 100.0

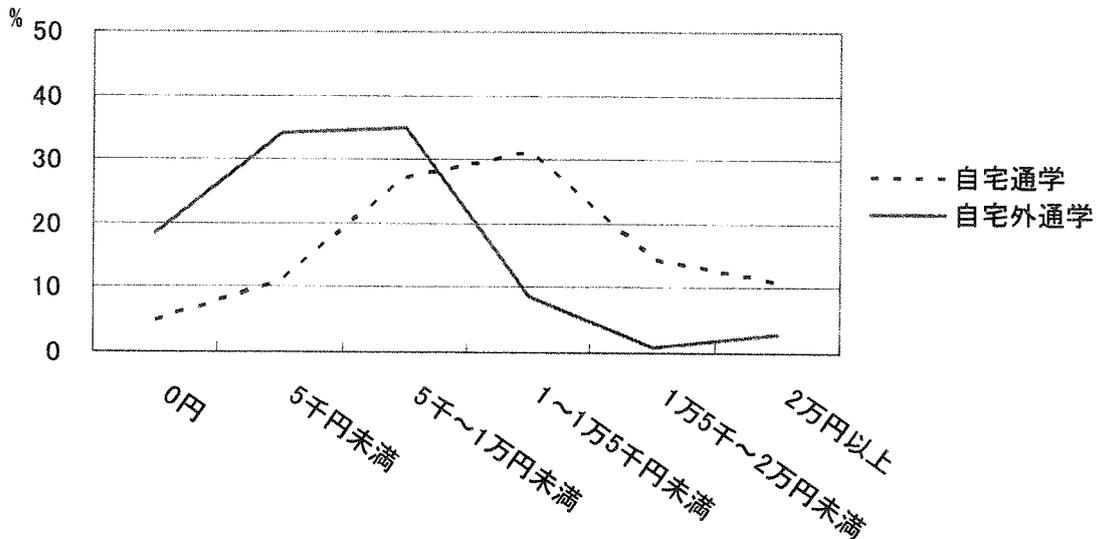


図2-4 1ヶ月の平均通学費(通学別)

8) 1ヶ月の平均通信費

携帯電話及びインターネット契約・接続料等を含む1ヶ月の平均通信費の平均額は、表2-10に示した。「5千～1万円未満」が121名(41.9%)と最も多く、「1～1万5千円未満」73名(25.3%)の順となっていた。携帯電話やインターネット等の普及により、本調査項目は前回の実態調査から追加した。平均通信費は、前回の調査結果とほぼ同傾向であった。しかし、なかには5万円を越える者もあり、1ヶ月に2万円以上を支出している者も10名(3.3%)いる。通信費が1ヶ月の総支出額に占める割合もかなり大きいのではないかと推測される。

表2-10 1ヶ月の平均通信費(学年別)

		1年	2年	3年	編入3年	4年	編入4年	合計
通信費	千円未満	2 2.6	4 6.5	3 4.8			1 3.8	10 3.5
	千～5千円未満	16 20.5	6 9.7	5 7.9	4 19.0	5 12.8	5 19.2	41 14.2
	5千～1万円未満	29 37.2	28 45.2	26 41.3	8 38.1	19 48.7	11 42.3	121 41.9
	1～1万5千円未満	21 26.9	15 24.2	18 28.6	4 19.0	9 23.1	6 23.1	73 25.3
	1万5千～2万円未満	7 9.0	8 12.9	8 12.7	3 14.3	5 12.8	3 11.5	34 11.8
	2万～2万5千円未満	1 1.3	1 1.6	2 3.2	1 4.8			5 1.7
	2万5千～3万円未満	1 1.3		1 1.6		1 2.6		3 1.0
	3万～3万5千円未満	1 1.3						1 0.3
	5万円以上				1 4.8			1 0.3
	合計	78 100.0	62 100.0	63 100.0	21 100.0	39 100.0	26 100.0	289 100.0

9) 家族等からの1ヶ月の平均援助額

1ヶ月に家族等から受けている金銭的援助額の平均について、「3万円未満」170名(63.0%)、「3～6万円未満」38名(14.1%)の順に多かった(表2-11)。自宅通学者と自宅外通学者別に示したものが図2-5である。自宅外通学者が自宅通学者より平均援助額が多いのは当然であるが、両者ともに3万円未満が最も多いという結果であった。自宅外通学者に3万円未満が最も多かったのは、家族からの支援に頼らず、多くの時間をアルバイトなどに費やしているのではないかと予想される。学費が高額であることもあり、親への依存度を弱めざるを得ない家庭の事情が窺える。勉学への影響も気になるところである。

表 2-11 家族等からの1ヶ月の平均援助額（学年別）

		1年	2年	3年	編入3年	4年	編入4年	合計
家族からの援助額	3万円未満	49 67.1	38 67.9	42 68.9	8 47.1	19 48.7	14 58.3	170 63.0
	3~6万円未満	12 16.4	6 10.7	9 14.8	2 11.8	6 15.4	3 12.5	38 14.1
	6~9万円未満	5 6.8	1 1.8		4 23.5	5 12.8	2 8.3	17 6.3
	9~12万円未満	1 1.4	4 7.1	4 6.6	2 11.8	5 12.8		16 5.9
	12~15万円未満	4 5.5	4 7.1	1 1.6		2 5.1	2 8.3	13 4.8
	15~18万円未満	1 1.4	1 1.8	3 4.9		2 5.1	1 4.2	8 3.0
	18~21万円未満		1 1.8	1 1.6	1 5.9			3 1.1
	21~24万円未満	1 1.4					1 4.2	2 0.7
	24~27万円未満						1 4.2	1 0.4
	30万円以上		1 1.8	1 1.6				2 0.7
合計	73 100.0	56 100.0	61 100.0	17 100.0	39 100.0	24 100.0	270 100.0	

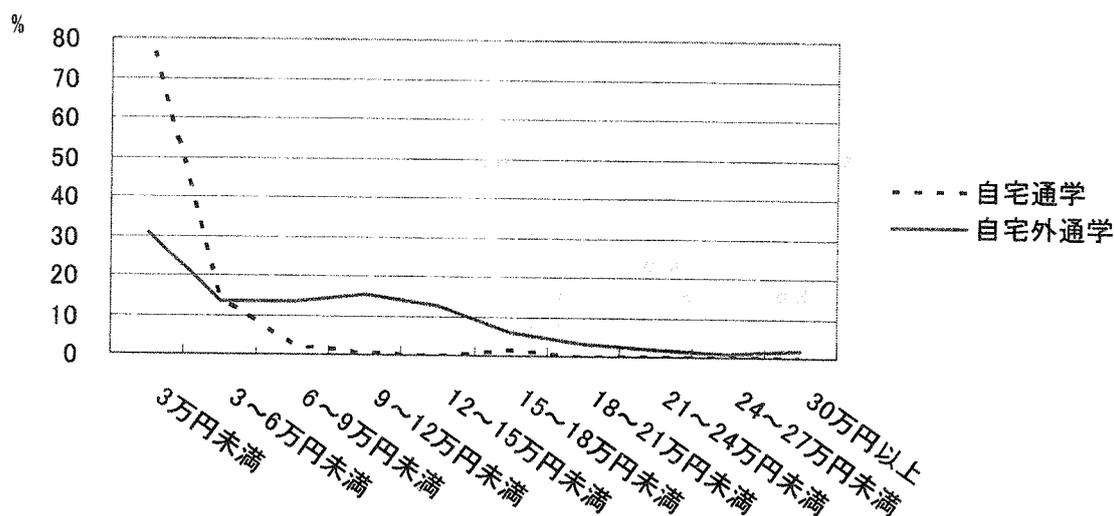


図 2-5 家族等からの1ヶ月の平均援助額（通学別）

10) 奨学金の受給状況

292名の回答者のうち、何らかの奨学金を受けている者162名（57.4%）、受けていない者120名（42.6%）であった。表 2-12に学年別の奨学金受給状況を示した。受給率は3年生、2年生、4年生の順で高かった。本学では奨学金申請者のほとんど全員がなんらかの形

で奨学金を受けている。編入生の受給率が一般学生に比べ低いのは、①申請しても年齢的に難しいと予め判断していたため、②入学前にそれなりに貯蓄しているため、などが考えられる。

表 2-12 奨学金受給状況 (学年別)

		有	無	合計
学 年	1年	33 44.0	42 56.0	75 100.0
	2年	40 67.8	19 32.2	59 100.0
	3年	48 76.2	15 23.8	63 100.0
	編入3年	6 30.0	14 70.0	20 100.0
	4年	24 61.5	15 38.5	39 100.0
	編入4年	11 42.3	15 57.7	26 100.0
合 計		162 57.4	120 42.6	282 100.0

受給奨学金の種別についてみると、「日本育英会」80名(49.4%)、「日本赤十字社都道府県支部及び赤十字病院関係」73名(45.1%)、「日本赤十字社医療センター」38名(23.5%)であった(表2-13)。その他としては、東京都の奨学金、高島君子奨学金、電通育英会、東京都看護師修学資金などが挙げられていた。奨学金受給者割合は、1990年73.5%、1996年76.1%、2001年48.9%と減少したが、今回は57.4%と少し増加した。

表 2-13 奨学金受給状況 (学年別：複数回答)

		日本赤 十字社 医療セン ター	日本赤 十字社 都道府 県支部お よび赤十 字病院	日本学 生支援 会(日本 育英会)	その他	合計
学 年	1年		17 51.5	17 51.5	2 6.1	33 100.0
	2年	12 30.0	17 42.5	22 55.0	1 2.5	40 100.0
	3年	20 41.7	21 43.8	21 43.8	6 12.5	48 100.0
	編入3年		2 33.3	4 66.7		6 100.0
	4年	6 25.0	10 41.7	11 45.8	2 8.3	24 100.0
	編入4年		6 54.5	5 45.5	1 9.1	11 100.0
合 計		38 23.5	73 45.1	90 49.4	12 7.4	162 100.0

### 3. アルバイトについて

#### 1) アルバイト経験の有無

表3-1からわかるように、学年を問わずほとんどの学生が何らかのアルバイトを経験していると言える（「経験あり」264名（93.6%）。前回調査でも94.1%とほぼ同様の傾向と言える。編入3年で2割強と他に比べて「経験なし」の割合が大きい。

表3-1 アルバイト経験（学年別）

		経験あり	経験なし	合計
学年	1年	70	8	78
		89.7	10.3	100.0
	2年	56	1	57
		98.2	1.8	100.0
	3年	61	2	63
		96.8	3.2	100.0
編入3年	15	4	19	
	78.9	21.1	100.0	
4年	38	1	39	
	97.4	2.6	100.0	
編入4年	24	2	26	
	92.3	7.7	100.0	
合計		264	18	282
		93.6	6.4	100.0

#### 2) アルバイト実施期間

大学入学以来、いつアルバイトを行っていたかは表3-2に示した。「長期休暇中及び授業期間いつも」106名(40.5%)で最も多く、これと「授業期間中いつも」(15.6%)を合わせると学生の半数以上が年間を通じてアルバイトに従事していることがわかる。また、本調査結果から、実習期間中であってもアルバイトを行っている学生の存在が示され(11.8%)、学業及び健康面への影響も懸念される。

表3-2 アルバイト実施期間（学年別）

		長期休暇のみ	授業期間中ときどき	授業期間いつも	授業、実習期間いつも	長期休暇中及び授業期間いつも	その他	合計
学年	1年	4 5.8	16 23.2	19 27.5	2 2.9	25 36.2	3 4.3	69 100.0
	2年		11 20.0	9 16.4	7 12.7	27 49.1	1 1.8	55 100.0
	3年	4 6.6	11 18.0	5 8.2	11 18.0	28 45.9	2 3.3	61 100.0
	編入3年	4 26.7	5 33.3	2 13.3		3 20.0	1 6.7	15 100.0
	4年		11 28.9	5 13.2	8 21.1	14 36.8		38 100.0
	編入4年	4 16.7	4 16.7	1 4.2	3 12.5	9 37.5	3 12.5	24 100.0
合計		16 6.1	58 22.1	41 15.6	31 11.8	106 40.5	10 3.8	262 100.0

3) アルバイトの主な目的

表3-3に挙げたアルバイトの主な目的の傾向としては、必ずしも経済的な必要に迫られてのものでないものが多い。例えば、「娯楽・嗜好品費を得る」（81.7%）や「社会勉強」（44.9%）などは、「生活費を得る」や「学費及び勉学費を得る」よりも多いか同程度であった。そのなかで、編入3年だけは、娯楽よりも学費や生活費のためにアルバイトをしている学生の割合が多かった。

表3-3 アルバイトの主な目的（学年別：複数回答）

		学費及び勉学費を得る	生活費を得る	クラブ活動・習い事等の費用を得る	娯楽・嗜好品費を得る	高額商品を購入する	社会勉強	友人を作る	時間が空いているため	通信費	その他	合計
学年	1年	10 14.5	39 56.5	11 15.9	56 81.2	4 5.8	34 49.3	11 15.9	21 30.4	6 8.7	3 4.3	69 100.0
	2年	11 19.6	30 53.6	18 32.1	53 94.6	6 10.7	29 51.8	12 21.4	7 12.5	7 12.5	3 5.4	56 100.0
	3年	7 11.5	21 34.4	12 19.7	49 80.3	9 14.8	23 37.7	16 26.2	15 24.6	9 14.8	7 11.5	61 100.0
	編入3年	8 53.3	10 66.7	2 13.3	7 46.7	2 13.3	4 26.7	1 6.7	5 33.3			15 100.0
	4年	9 23.7	18 47.4	8 21.1	32 84.2	6 15.8	20 52.6	12 31.6	7 18.4	6 15.8	7 18.4	38 100.0
	編入4年	8 33.3	10 41.7	2 8.3	18 75.0	1 4.2	8 33.3	1 4.2	6 25.0	3 12.5	1 4.2	24 100.0
合計		53 20.2	128 48.7	53 20.2	215 81.7	28 10.6	118 44.9	53 20.2	61 23.2	31 11.8	21 8.0	263 100.0

#### 4) 授業期間中のアルバイト実施状況

授業期間中にアルバイトを行った経験のある学生247名のうち、1週間の平均アルバイト日数については表3-4に示した。最も多かったのが前回調査同様「2～3日」175名(70.9%)であり、ついで「4～5日」、「1日」がそれぞれ36名(14.6%)、33名(13.4%)とほぼ同数の状況である。編入3、4年生では「1日」が最も多く(5～6割)、他の学生よりも日数が少ない傾向が認められた。

表3-4 1週間の平均アルバイト日数(学年別)

		0日	1日	2～3日	4～5日	6～7日	合計
学年	1年		3 4.5	47 71.2	15 22.7	1 1.5	66 100.0
	2年		5 9.1	43 78.2	7 12.7		55 100.0
	3年	1 1.8	6 10.5	41 71.9	9 15.8		57 100.0
	編入3年		6 54.5	4 36.4	1 9.1		11 100.0
	4年			35 92.1	3 7.9		38 100.0
	編入4年	1 5.0	13 65.0	5 25.0	1 5.0		20 100.0
合計		2 0.8	33 13.4	175 70.9	36 14.6	1 0.4	247 100.0

また、1日の平均アルバイト時間は表3-5に示した。最も多い「4～5時間」72名(29.3%)と「6時間以上」68名(27.6%)がほぼ同数で、前回に比べると6時間以上アルバイトに従事する学生は大幅に増加した。次いで「5～6時間」51名(20.7%)、「3～4時間」33名(13.4%)という状況となっており、全体を通じてアルバイト時間は増加傾向にあると言える。編入生はアルバイト日数が少ないが、1回のアルバイト時間は長く、「6時間以上」が半数以上いる。

また1時間あたりの平均アルバイト賃金は表3-6の通りである。「800～1000円未満」が122名(50.0%)と最も多く、次いで「1000～1200円未満」という傾向は前回調査と同様である。以下「1200～1400円未満」17名(7.0%)と「600～800円未満」15名(6.1%)がほぼ同数となっている。編入生のアルバイト賃金は個人差が大きく、全体的に高い傾向が窺える。

表 3-5 1回の平均アルバイト時間（学年別）

		2時間未 満	2～3時 間	3～4時 間	4～5時 間	5～6時 間	6時間以 上	その他	合計
学年	1年		8 12.1	5 7.6	22 33.3	17 25.8	12 18.2	2 3.0	66 100.0
	2年			12 21.4	13 23.2	11 19.6	19 33.9	1 1.8	56 100.0
	3年	1 1.8	6 10.7	10 17.9	17 30.4	12 21.4	10 17.9		56 100.0
	編入3年		1 9.1		2 18.2	2 18.2	6 54.5		11 100.0
	4年		1 2.6	3 7.9	15 39.5	8 21.1	11 28.9		38 100.0
	編入4年	1 5.3	1 5.3	3 15.8	3 15.8	1 5.3	10 52.6		19 100.0
合計		2 0.8	17 6.9	33 13.4	72 29.3	51 20.7	68 27.6	3 1.2	246 100.0

表 3-6 1時間あたりの平均アルバイト賃金（学年別）

		600～ 800円未 満	800～ 1000円 未満	1000～ 1200円 未満	1200～ 1400円 未満	1400～ 1600円 未満	1600～ 1800円 未満	1800～ 2000円 未満	2000円 以上	合計
学年	1年	9 13.8	39 60.0	13 20.0	3 4.6				1 1.5	65 100.0
	2年	2 3.6	33 60.0	14 25.5	4 7.3	1 1.8			1 1.8	55 100.0
	3年	1 1.8	33 58.9	16 28.6	4 7.1			1 1.8	1 1.8	56 100.0
	編入 3年		3 27.3	2 18.2			3 27.3	1 9.1	2 18.2	11 100.0
	4年	3 7.9	12 31.6	17 44.7	4 10.5	1 2.6	1 2.6			38 100.0
	編入 4年		2 10.5	3 15.8	2 10.5	4 21.1	3 15.8	1 5.3	4 21.1	19 100.0
合計		15 6.1	122 50.0	65 26.6	17 7.0	6 2.5	7 2.9	3 1.2	9 3.7	244 100.0

アルバイトの職種は表 3-7 に示した。「接客業」が170名（69.1%）と圧倒的に多く、次いで「販売業」48名（19.5%）と、上位2業種で全体の約9割を占めている。新たな傾向として、「家庭教師・塾講師」32名（13.0%）、「看護師・助産師・看護助手・介護ヘルパー」31名（12.6%）が大幅に増加していることが挙げられる。既に看護師免許を取得している編入生の半数以上が看護師などの専門職のアルバイトに従事している。

表3-7 アルバイト職種（学年別）

		家庭教師・塾講師	事務職種	販売業	接客業	看護師・助産師・看護助手・介護ヘルパー	その他	合計
学年	1年	8 12.1	2 3.0	14 21.2	44 66.7	6 9.1	6 9.1	66 100.0
	2年	6 10.7	7 12.5	11 19.6	44 78.6	1 1.8	4 7.1	56 100.0
	3年	8 14.3	2 3.6	7 12.5	42 75.0	1 1.8	9 16.1	56 100.0
	編入3年		1 9.1	1 9.1	3 27.3	6 54.5	1 9.1	11 100.0
	4年	8 21.1	4 10.5	12 31.6	32 84.2	3 7.9	8 21.1	38 100.0
	編入4年	2 10.5	1 5.3	3 15.8	5 26.3	14 73.7		19 100.0
	合計	32 13.0	17 6.9	48 19.5	170 69.1	31 12.6	28 11.4	246 100.0

5) 長期休暇中のアルバイト実施状況

長期休暇中アルバイトに従事した学生数は194名であった。表3-8に示したように、「接客業」117名（60.3%）、「販売業」44名（22.7%）の順に多くなっている。また、「看護師・助産師・看護助手・介護ヘルパー」36名（18.6%）と「家庭教師・塾講師」32名（16.5%）が、表3-7に挙げた「授業期間中のアルバイト職種」とほぼ同数となっているが、これは、授業期間から継続して行っている学生が多いためであると考えられる。

表3-8 長期休暇中のアルバイト状況（職種：学年別）

		家庭教師・塾講師	事務職種	販売業	接客業	看護師・助産師・看護助手・介護ヘルパー	その他	合計
学年	1年	11 22.9		8 16.7	27 56.3	4 8.3	14 29.2	48 100.0
	2年	4 10.0	3 7.5	12 30.0	30 75.0	3 7.5	4 10.0	40 100.0
	3年	9 18.0	5 10.0	11 22.0	32 64.0	3 6.0	12 24.0	50 100.0
	編入3年			2 20.0	1 10.0	8 80.0		10 100.0
	4年	6 20.7	2 6.9	8 27.6	23 79.3	5 17.2	7 24.1	29 100.0
	編入4年	2 11.8	1 5.9	3 17.6	4 23.5	13 76.5		17 100.0
合計	32 16.5	11 5.7	44 22.7	117 60.3	36 18.6	37 19.1	194 100.0	

#### 4. 課外活動について

##### 1) 加盟している学内・学外のクラブ及び同好会

大学生の課外活動の減少傾向が指摘されて久しいが、本学においても同様の傾向が前回調査においては継続して認められた。

しかし前回調査と異なり今回の調査結果では、「加入し活動している」124名（44.1%）が最も多く、「最初から加盟していない」87名（31.0%）を大きく上回り、課外活動離れに一応の歯止めがかかった形となっている。そんななか、編入生は相変わらず加盟者が圧倒的に少ない。学内におけるクラブ活動では、編入学の目的や、一般学部生との年齢差などの要因が大きく影響していると推測される。

表4-1 加盟している学内・学外のクラブ及び同好会（学年別）

		加入し、活動している	加入の みで、活 動してい ない	以前加 入してい たがやめ た	最初から 加入して いない	合計
学年	1年	36 48.6	15 20.3	7 9.5	16 21.6	74 100.0
	2年	42 68.9	7 11.5	6 9.8	6 9.8	61 100.0
	3年	28 45.2	2 3.2	13 21.0	19 30.6	62 100.0
	編入3年	2 9.5		2 9.5	17 81.0	21 100.0
	4年	8 20.5	5 12.8	11 28.2	15 38.5	39 100.0
	編入4年	8 33.3		2 8.3	14 58.3	24 100.0
合計		124 44.1	29 10.3	41 14.6	87 31.0	281 100.0

##### 2) クラブ等の参加目的

###### (1) 課外活動への参加理由

課外活動に参加している194名（うち5名不明で189名）のうち、「楽しむため」142名（75.1%）、「興味・関心があったから」137名（72.5%）がほぼ同数で最も多く、次いで、「友人を得るため」108名（57.1%）、「知識・教養等を身につけるため」56名（29.6%）、「健康増進のため」37名（19.6%）となっている。これは前回調査と大きく変わらない傾向となっている。

表4-2 課外活動への参加理由（学年別：複数回答）

		友人を得るため	知識・教養・技術等を身につけるため	人格形成のため	興味・関心があったから	楽しむため	健康増進のため	その他	合計
学年	1年	34 61.8	14 25.5	8 14.5	38 69.1	42 76.4	11 20.0	3 5.5	55 100.0
	2年	31 57.4	17 31.5	7 13.0	37 68.5	39 72.2	16 29.6	1 1.9	54 100.0
	3年	25 58.1	17 39.5	2 4.7	36 83.7	35 81.4	6 14.0		43 100.0
	編入3年	2 50.0	2 50.0		3 75.0	1 25.0			4 100.0
	4年	14 60.9	4 17.4	4 17.4	18 78.3	18 78.3	4 17.4	4 17.4	23 100.0
	編入4年	2 20.0	2 20.0	2 20.0	5 50.0	7 70.0			10 100.0
合計	108 57.1	56 29.6	23 12.2	137 72.5	142 75.1	37 19.6	8 4.2	189 100.0	

(2) 課外活動の不参加理由

課外活動に参加しない理由は、「興味ある課外活動がない」が26名（35.6%）と最も多く、次いで「課外活動に興味がない」12名（16.4%）、「アルバイトがあるから」10名（13.7%）、「通学時間が長いから」10名（13.7%）の3つがほぼ同数となっており、前回調査の結果ほぼ同様の結果となっている（表4-3）。

表4-3 課外活動不参加理由（学年別）

		課外活動に興味がない	興味ある課外活動がない	学業と両立しない	アルバイトがあるから	通学時間が長いから	キャンパス間の移動が大変なため	その他	合計
学年	1年	1 7.1	5 35.7		3 21.4	3 21.4	2 14.3		14 100.0
	2年	2 33.3	2 33.3		2 33.3				6 100.0
	3年		3 25.0		1 8.3	4 33.3	1 8.3	3 25.0	12 100.0
	編入3年	4 25.0	6 37.5	1 6.3	1 6.3	1 6.3		3 18.8	16 100.0
	4年	3 25.0	5 41.7		2 16.7	2 16.7			12 100.0
	編入4年	2 15.4	5 38.5	3 23.1	1 7.7			2 15.4	13 100.0
合計	12 16.4	26 35.6	4 5.5	10 13.7	10 13.7	3 4.1	8 11.0	73 100.0	

(3) 課外活動における中途退会の理由

表4-4に挙げたように、各理由の間で顕著な傾向は見られない。ただ、前回調査の結果に比べると、退会した学生総数は40名から25名と減少傾向にある。これは主に「学業と両立しない」が前回調査では14名(35.0%)だったのに対して4名(16.0%)と激減した結果と考えられる。

表4-4 課外活動における中途退会の理由(学年別)

		課外活動に興味 がなくなった	課外活 動の方 針への 不満や 人間関 係上のト ラブル	学業と両 立しない	アルバイ トがある から	キャンパ ス間の移 動が大 変なため	その他	合計
学年	1年	1 50.0				1 50.0		2 100.0
	2年	1 25.0		1 25.0	2 50.0			4 100.0
	3年	2 20.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0		3 30.0	10 100.0
	編入3年		1 50.0				1 50.0	2 100.0
	4年	1 16.7		2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	6 100.0
	編入4年						1 100.0	1 100.0
合計		5 20.0	4 16.0	4 16.0	4 16.0	2 8.0	6 24.0	25 100.0

3) 夏季休暇中の主な活動

表4-5に示すように、夏季休暇中の主な活動(複数回答)を総数から見ると、「アルバイト」が198名(68.8%)と最も多く、次いで「国内旅行」133名(46.2%)、「研究や勉強」80名(27.8%)となっている。「海外旅行」の割合は、前回は15.0%だったのに対して、今回調査では20.8%と増加傾向にある。また、前回同様「アルバイト」が圧倒的に多かったことから、学生の経済状況はますます厳しくなっていることが読み取れる。

4年生(学部と編入)は、「研究や勉強」が6~7割もおり、卒業論文作成のための準備期間、あるいは就職試験のための勉強期間として利用しているようである。

表 4-5 夏季休暇中の主な活動（学年別：複数回答）

		国内旅行	海外旅行	自動車等の免許の取得	合宿	研究や勉強	アルバイト	ボランティア活動	その他	合計
学年	1年	25 32.5	11 14.3	9 11.7	24 31.2	8 10.4	54 70.1	8 10.4	7 9.1	77 100.0
	2年	42 66.7	10 15.9	5 7.9	22 34.9	3 4.8	50 79.4	10 15.9	9 14.3	63 100.0
	3年	27 43.5	19 30.6	8 12.9	12 19.4	23 37.1	44 71.0	9 14.5	13 21.0	62 100.0
	編入3年	10 45.5	9 40.9		3 13.6	4 18.2	12 54.5	1 4.5	2 9.1	22 100.0
	4年	17 43.6	6 15.4	6 15.4	2 5.1	24 61.5	22 56.4	4 10.3	9 23.1	39 100.0
	編入4年	12 48.0	5 20.0		2 8.0	18 72.0	16 64.0	2 8.0	3 12.0	25 100.0
	合計	133 46.2	60 20.8	28 9.7	65 22.6	80 27.8	198 68.8	34 11.8	43 14.9	288 100.0

#### 4) 課外教育と学生の希望

##### (1) 課外教育の経験の有無と受講講座

課外教育の経験の有無と受講講座に関しては、表 4-6 「学外学校への通学経験」に示した。大学入学後、技術や資格取得のための学外活動の有無を見ると、総数では「ある」と回答した学生が49名（17.8%）となっており、前々回、また前回の調査結果（23.1%）から比べると継続して減少傾向にあるといえる。これはアルバイト状況からも見られたように、学生の経済状況が益々厳しくなっていることを表していると考えられる。

表 4-6 学外学校への通学経験（学年別）

		ある	ない	合計
学年	1年	10 13.9	62 86.1	72 100.0
	2年	11 18.6	48 81.4	59 100.0
	3年	8 13.3	52 86.7	60 100.0
	編入3年	3 13.6	19 86.4	22 100.0
	4年	12 32.4	25 67.6	37 100.0
	編入4年	5 20.0	20 80.0	25 100.0
	合計	49 17.8	226 82.2	275 100.0

(2) 課外教育プログラムへの希望

最も希望の多い大学主催の課外教育プログラムは、前回同様「海外研修」79名（37.3%）で、次いで「教養講座等の講演会」が前回から大幅に増加し33名（15.6%）となっている。前回2位だった「救急法の講習会」は25名（11.8%）と減少し、「映画鑑賞」26名（12.3%）とほぼ同数の結果となった。

表4-7 希望する大学主催の課外教育プログラム（学年別）

		教養講座等の講演会	映画鑑賞	音楽鑑賞	ハイキング・キャンプ等	スポーツ講習会等	海外研修	救急法の講習会	その他	合計
学年	1年	3 5.6	14 25.9	5 9.3	3 5.6	1 1.9	22 40.7	5 9.3	1 1.9	54 100.0
	2年	6 14.3	1 2.4	2 4.8	6 14.3	2 4.8	19 45.2	6 14.3		42 100.0
	3年	5 11.4	7 15.9	4 9.1	5 11.4	4 9.1	12 27.3	4 9.1	3 6.8	44 100.0
	編入3年	6 37.5	1 6.3		1 6.3	1 6.3	6 37.5	1 6.3		16 100.0
	4年	6 19.4	1 3.2	3 9.7	1 3.2	2 6.5	11 35.5	7 22.6		31 100.0
	編入4年	7 28.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0	2 8.0	9 36.0	2 8.0		25 100.0
	合計	33 15.6	26 12.3	16 7.5	17 8.0	12 5.7	79 37.3	25 11.8	4 1.9	212 100.0

## 5. 生活時間について

### 1) 睡眠時間

実習の影響が睡眠時間にどの程度影響を及ぼしているのかを比較するために、実習の有無に分けて質問をおこなった(図5-1)。まず、実習がない期間の場合、1日の睡眠時間で最も多いのは「5～6時間未満」102名(35.2%)、次いで「6～7時間未満」101名(34.8%)、「4～5時間未満」34名(11.7%)、「7～8時間未満」31名(10.7%)、「8時間以上」11名(3.8%)、「3～4時間未満」10名(3.4%)、「3時間未満」1名(0.3%)であった。前回の調査では、「8時間以上」と回答した学生が1名もおらず、今回の調査結果では11名(3.8%)いたことから、全体として睡眠時間を多くとる学生が増加傾向にある。

次に、実習期間中の場合をみると、最も多いのが「4～5時間未満」79名(28.4%)、次いで「5～6時間未満」67名(24.1%)、「3～4時間未満」64名(23.0%)となっており、「3時間未満」も27名(9.7%)とかなりの人数に上がっていた。全体として85.2%の学生が6時間未満であった。実習のない期間での睡眠時間6時間未満の学生の割合は50.6%と実習のある時期と比べると低く、実習の影響がかなり大きいと思われる。この傾向は前回の調査結果と同様であった。

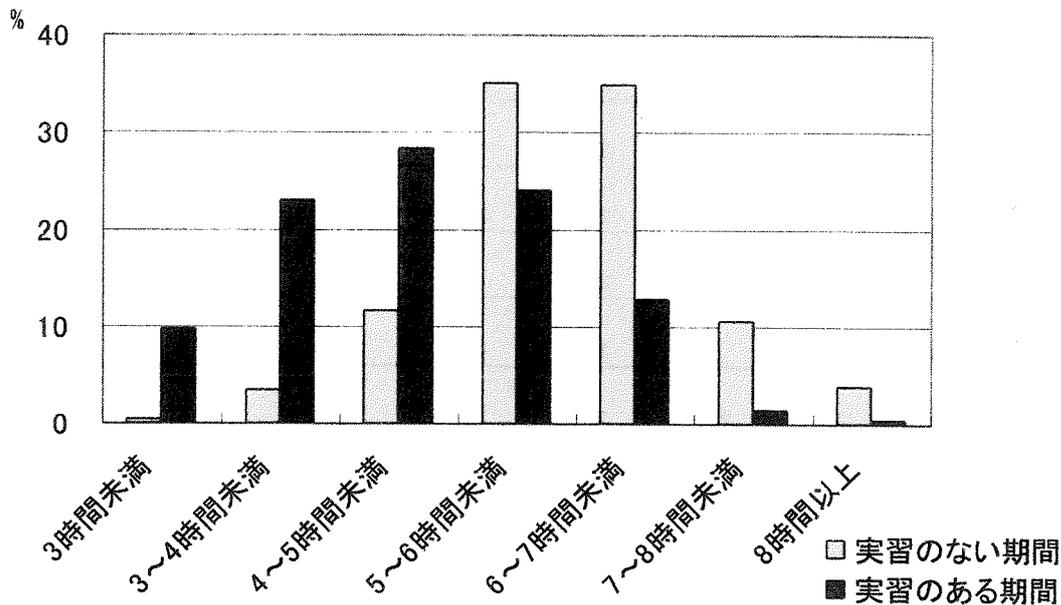


図5-1 睡眠時間の比較(実習期間の有無)

表5-1 実習のない期間中の睡眠時間（学年別）

		3時間未 満	3~4時 間未満	4~5時 間未満	5~6時 間未満	6~7時 間未満	7~8時 間未満	8時間以 上	合計
学年	1年	1 1.3	2 2.6	12 15.6	30 39.0	27 35.1	5 6.5		77 100.0
	2年		3 4.8	7 11.1	20 31.7	24 38.1	8 12.7	1 1.6	63 100.0
	3年		3 4.8	7 11.1	21 33.3	18 28.6	7 11.1	7 11.1	63 100.0
	編入3年				9 40.9	11 50.0	1 4.5	1 4.5	22 100.0
	4年		2 5.1	6 15.4	13 33.3	13 33.3	3 7.7	2 5.1	39 100.0
	編入4年			2 7.7	9 34.6	8 30.8	7 26.9		26 100.0
合計		1 0.3	10 3.4	34 11.7	102 35.2	101 34.8	31 10.7	11 3.8	290 100.0

表5-2 実習期間中の睡眠時間（学年別）

		3時間未 満	3~4時 間未満	4~5時 間未満	5~6時 間未満	6~7時 間未満	7~8時 間未満	8時間以 上	合計
学年	1年	3 3.9	10 13.0	27 35.1	26 33.8	10 13.0	1 1.3		77 100.0
	2年	6 9.5	19 30.2	15 23.8	15 23.8	8 12.7			63 100.0
	3年	5 7.9	19 30.2	21 33.3	11 17.5	5 7.9	1 1.6	1 1.6	63 100.0
	編入3年	2 16.7	1 8.3	3 25.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3		12 100.0
	4年	10 25.6	14 35.9	9 23.1	3 7.7	3 7.7			39 100.0
	編入4年	1 4.2	1 4.2	4 16.7	9 37.5	8 33.3	1 4.2		24 100.0
合計		27 9.7	64 23.0	79 28.4	67 24.1	36 12.9	4 1.4	1 0.4	278 100.0

次に、実習のない期間の睡眠時間を学年別に比較すると（表5-1）、「5~6時間未満」が多い学年は1年生、3年生、編入4年生であり、「6~7時間未満」が多い学年は2年生編入3年生で、4年生は「5~6時間未満」と「6~7時間未満」が同数で多かった。前回の調査結果では、学年が上になると睡眠時間が多くなる傾向を示していたが、今回の調査結果ではその傾向はみられない。「8時間以上」が3年生では7名と他の学年の0~2人に比べ多い。

さらに実習期間中の睡眠時間を実習期間中の睡眠時間を学年別に比較してみると（表5-2）、「3~4時間未満」が多い学年は2年生19名(30.2%)、4年生14名(35.9%)であり、「5~6時間未満」が多い学年は編入3年生3名(25.0%)、編入4年生9名(37.5%)であった。

2年生の睡眠時間が少ない傾向は前回の調査結果と同様で、本格的な実習の負担が大きいことが窺える。また、4年生の睡眠時間が少ない理由として、実習の内容の深まりに加え卒業研究や国家試験の準備など課題が増えていることなどが影響していると思われる。他の学年と比較すると、編入3年生と編入4年生は睡眠時間が多く、編入前の実習経験を生かし生活時間の調整をしているものと思われる。

## 2) 学習時間

大学における正規の学習時間以外での、1日の自己学習時間をみると(図5-2)、最も多いのは「1時間未満」131名(45.6%)、次いで「1～2時間未満」110名(38.3%)で、学習時間が増えるほど回答者数が減る傾向を示している。「1時間未満」と回答した割合は、今回の調査結果の方が多くなっており(前回43.4%、前々回33.0%)、学習時間の少ない学生が増加している。

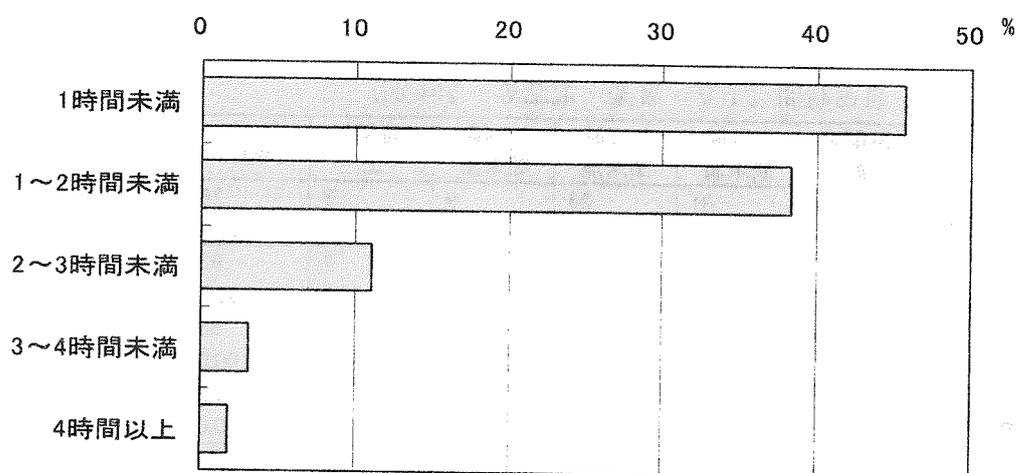


図5-2 学習時間

表5-3 学習時間(学年別)

		1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4時間以上	合計
学年	1年	35	27	11	1	3	77
		45.5	35.1	14.3	1.3	3.9	100.0
	2年	33	24	3			60
		55.0	40.0	5.0			100.0
	3年	39	19	4	1		63
		61.9	30.2	6.3	1.6		100.0
	編入3年	7	12	3			22
		31.8	54.5	13.6			100.0
	4年	12	14	8	4	1	39
		30.8	35.9	20.5	10.3	2.6	100.0
	編入4年	5	14	3	3	1	26
		19.2	53.8	11.5	11.5	3.8	100.0
合計		131	110	32	9	5	287
		45.6	38.3	11.1	3.1	1.7	100.0

学年別に比較してみると（表5-3）、1年生から3年生まで最も多いのが「1時間未満」であるのに対して、学年が上になると学習時間の長い学生が増加している。また、編入生の方が一般入学生に比べて、学習時間が長いものの割合が多い。学年別の比較では、前回の調査結果と同様の傾向を示している。

### 3) 自由時間

学生がテレビや音楽、電話等で過ごす自由時間（表5-4）について、最も多いのは「1～2時間未満」115名(39.9%)、次いで「2～3時間未満」83名(28.8%)、「3～4時間未満」43名(14.9%)の順であった。「1～2時間未満」と回答した割合は、今回の調査結果の方が減っており（前回42.7%）、最近の学生の自由時間は減少傾向にあると思われる。

学年別で比較してみると、すべての学年で最も多いのが「1～2時間未満」で、違いはみられなかった。

表5-4 自由時間（TV・音楽・電話等：学年別）

		1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4時間以上	合計
学年	1年	7 9.2	31 40.8	26 34.2	9 11.8	3 3.9	76 100.0
	2年	4 6.5	29 46.8	16 25.8	6 9.7	7 11.3	62 100.0
	3年	7 11.1	20 31.7	20 31.7	11 17.5	5 7.9	63 100.0
	編入3年	2 9.1	8 36.4	5 22.7	5 22.7	2 9.1	22 100.0
	4年	4 10.3	17 43.6	7 17.9	8 20.5	3 7.7	39 100.0
	編入4年	1 3.8	10 38.5	9 34.6	4 15.4	2 7.7	26 100.0
	合計	25 8.7	115 39.9	83 28.8	43 14.9	22 7.6	288 100.0

### 4) 通学時間

学生の通学時間（片道）で最も多いのは「60～90分未満」80名(27.9%)で、次いで「30～60分未満」79名(27.5%)、「90～120分未満」79名(20.2%)、「30分未満」47名(16.4%)、「120分以上」23名(8.0%)の順であった（図5-7）。前回の調査結果で最も多かったものは「30～60分未満」(29.2%)、次いで「60～90分未満」(25.2%)と今回の調査結果と順位が入れ替わっており、全体として通学時間が増している。また、「120分以上」の学生の割合も前回の調査結果（7.1%）より増えていた。

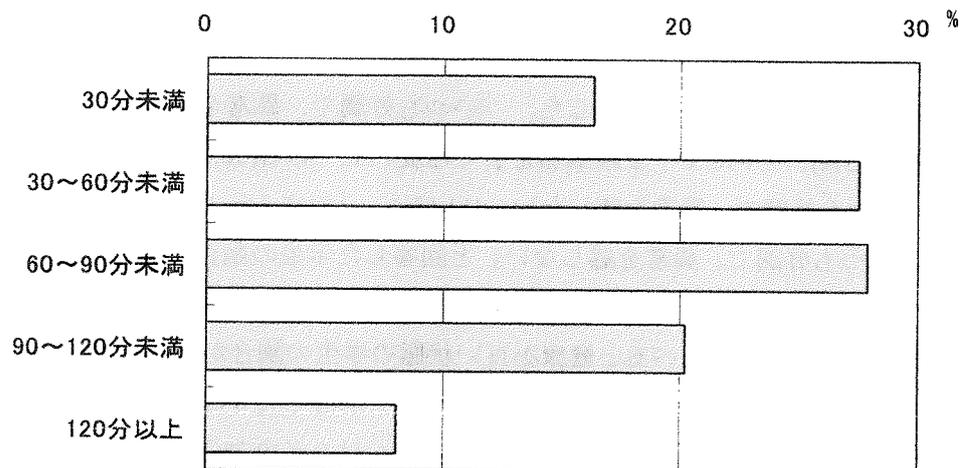


図5-3 通学時間 (片道)

#### 5) 課外活動時間

学生が学内・外のクラブやサークル等で過ごす時間は、最も多いのは「1時間未満」145人(53.9%)で、次いで「1～2時間未満」57人(21.2%)、「2～3時間未満」34人(12.6%)、「3～4時間未満」19人(7.1%)、「4時間以上」14人(5.2%)の順で、活動時間が減るにつれ回答者数が減っている(表5-5)。

学年別で比較すると、すべての学年で最も多いのは「1時間未満」であり、違いは認められなかった。

前回の調査結果で最も多かったものは「1時間未満」と今回の調査結果と同じであるが、割合(前回65.3%)が減っていること、また、前回の調査では2位が「2～3時間未満」であったことから、課外活動時間が減少しているといえる。最近の大学生の課外活動時間が減少する傾向は、本学の学生にも認められる。

表5-5 課外活動時間 (学年別)

		1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満
学年	1年	40 54.8	14 19.2	14 19.2	2 2.7
	2年	23 39.7	14 24.1	7 12.1	8 13.8
	3年	33 55.9	13 22.0	5 8.5	5 8.5
	編入3年	11 61.1	4 22.2	3 16.7	
	4年	18 50.0	11 30.6	5 13.9	
	編入4年	20 80.0	1 4.0		4 16.0
合計		145 53.9	57 21.2	34 12.6	19 7.1

## 6. 健康状態について

### 1) 身体面の健康

日頃の健康状態の結果は、図6-1に示した。「いつも好調で、異常を感じない」と回答した学生は70名(24.5%)、「年に1~2回風邪を引く程度」は、143名(50.0%)であった。前回の調査結果は「いつも好調で、異常を感じない」(11.6%)、「年に1~2回風邪を引く程度」(50.2%)で、「いつも好調で、異常を感じない」と回答した学生の割合の増加が著しいのが特徴的である。この2項目を合わせて比較的健康が良い状態と捉えると213名(74.5%)で、前回の調査結果61.8%に比べると健康が良い状態の学生の割合が増している。

「3ヶ月に1~2回は病気によって欠席することがある」と回答した学生は11名(3.8%)で、「1ヶ月に1~2回は病気によって欠席することがある」は2名(0.7%)、「常に疲労感や不調を感じている」33名(11.5%)、「治療している病気がある」4名(5.6%)であった。前回の調査結果は、「常に疲労感や不調を感じている」(24.7%)、「治療している病気がある」(4.2%)であり、今回の調査結果と比べると健康状態の悪い学生の割合が減少していた。なお、治療している病気には、胃潰瘍、腰痛、アトピー、喘息、アレルギー鼻炎などが挙げられていた。

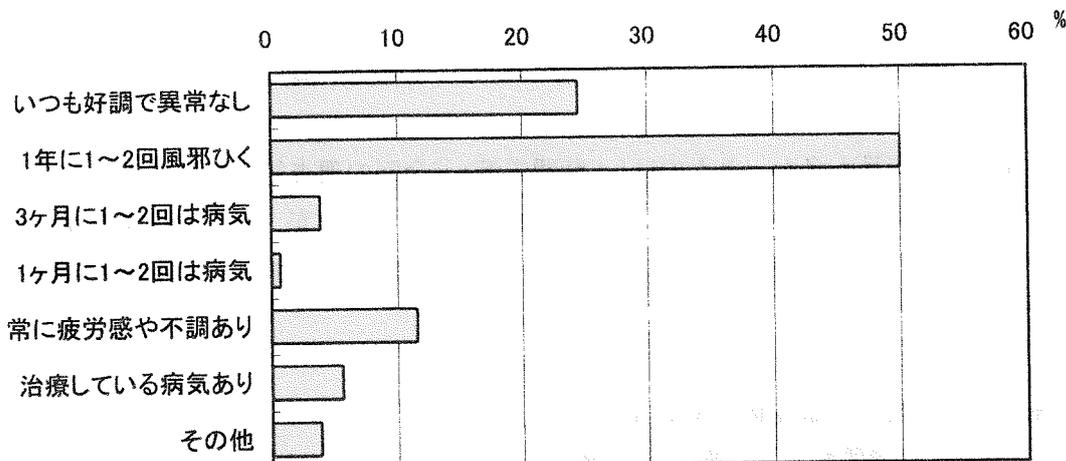


図6-1 健康状態

学年別の健康状態は、表6-1に示した。すべての学年で最も回答が多いものは、「年に1~2回風邪を引く程度」であった。1、3年生に比して、2、4年生は疲労や健康状態の不調を訴えているものの割合が多い傾向にあり、「いつも好調で、異常を感じない」の割合が最も少ないのは4年生であった。3、4年生で疲労や健康状態の不調を訴えているもの割合が多かった前回の調査結果と異なっていた。

疲労や健康状態の不調の訴えの割合の多い2、4年生は実習中の睡眠時間が短く、疲労や健康状態の不調の訴える割合の少ない、編入3、4年生は実習の睡眠時間が長い傾向がみられ、健康状態に睡眠時間が影響していると考えられる。

表 6 - 1 健康状態 (学年別)

		いつも好調で、異常を感じない	1年に1～2回風邪をひく程度	3ヶ月に1～2回は病気によって欠席することがある	1ヶ月に1～2回は病気によって欠席することがある	常に疲労感や不調を感じている	治療している病気がある	その他	合計
学年	1年	26 34.7	32 42.7	1 1.3		6 8.0	6 8.0	4 5.3	75 100.0
	2年	10 16.4	32 52.5	4 6.6		11 18.0	2 3.3	2 3.3	61 100.0
	3年	13 20.6	32 50.8	2 3.2	1 1.6	8 12.7	5 7.9	2 3.2	63 100.0
	編入3年	9 40.9	9 40.9	1 4.5	1 4.5	2 9.1			22 100.0
	4年	6 15.4	21 53.8	3 7.7		6 15.4	1 2.6	2 5.1	39 100.0
	編入4年	6 23.1	17 65.4				2 7.7	1 3.8	26 100.0
	合計	70 24.5	143 50.0	11 3.8	2 0.7	33 11.5	16 5.6	11 3.8	286 100.0

自宅通学者と自宅外通学者の健康状態を、「いつも好調で異常なし」「年に1～2回風邪を引く程度」の2項目をあわせ、比較的健康的な状態として比較すると、学生の割合は自宅通学者(63.8%)自宅外通学者(59.5%)で自宅通学者の方がやや多い傾向を示しており、前回の調査結果と同様の傾向であった(図6-2)。

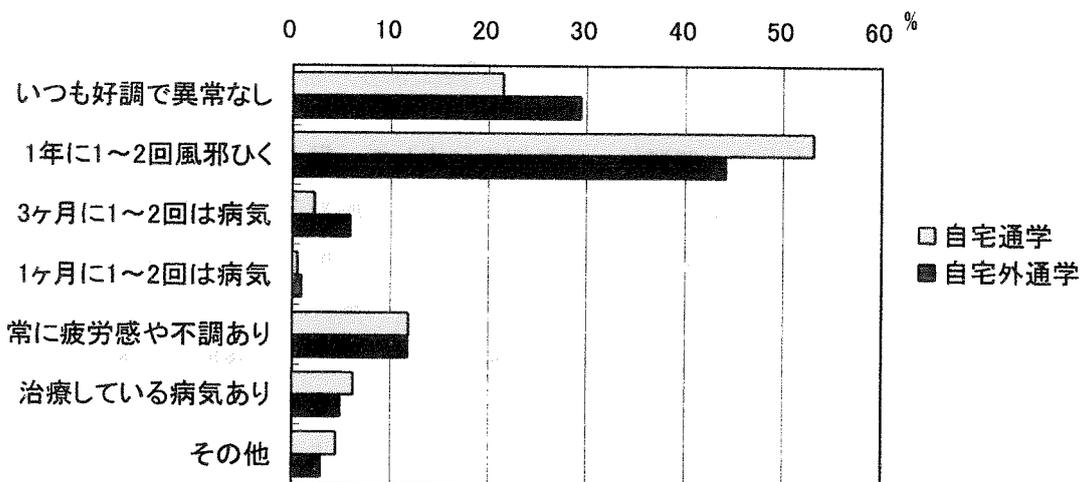


図 6 - 2 健康状態 (通学別)

## 2) 精神面の健康

入学してから今までに悩みや不安があったと回答した学生は238名(82.1%)と多いが、前回の調査結果90.1%よりは減っていた(表6-2)。

表6-2 入学してから今までの悩みや不安（学年別）

		あった (ある)	なかった (ない)	合計
学年	1年	53 67.9	25 32.1	78 100.0
	2年	53 84.1	10 15.9	63 100.0
	3年	55 87.3	8 12.7	63 100.0
	編入3年	17 81.0	4 19.0	21 100.0
	4年	37 94.9	2 5.1	39 100.0
	編入4年	23 88.5	3 11.5	26 100.0
合計		238 82.1	52 17.9	290 100.0

悩みや不安内容の内訳（複数回答）をみると、最も多いものは「友人との人間関係」142人(59.9%)、次いで「学業に関する能力問題」141人(59.5%)、「将来の進路」132人(55.7%)、「看護師としての適性」130人(54.9%)、「異性問題」88人(37.1%)、「人生観について」79人(33.3%)、「家族や家庭内のこと」73人(30.8%)、「経済的な問題」62人(26.5%)、「健康について」61人(25.7%)、「課外活動」31人(13.1%)、「その他」7人(3.0%)の順であった。

前回の調査で、最も多かったものは「将来の進路」(59.4%)、次いで「看護師としての適性」(55.4%)、「友人との人間関係」(54.5%)、「学業に関する能力問題」(52.5%)で、1位～4位までの順位が今回の調査結果と変わっていた。今回の調査結果から、学生は将来の進路や看護師としての適性など将来に対する不安や悩みよりも、友人との人間関係や学業に関する能力問題といった身近な生活で直面する問題に悩みや不安を感じていると思われる。

学年別にみると、「友人との人間関係」は学部生に比して、編入生で高い傾向にあり、2年間共に学校生活を過ごした集団に新たに加わることや年齢差などが影響していると考えられる。「将来の進路」や「学業に関する能力問題」は、学部生に比して編入生の方が高い傾向にあり、「看護師としての適性」は学部生に比して編入生の方が低い傾向にあった。この傾向は前回の調査結果と同じであった。編入生は、すでに看護師国家資格を得ているものがほとんどで、大学教育あるいは保健師国家資格取得をめざして進学している背景から、看護職に対する適性に悩みや不安を覚える者は少ないようである。しかし、学業に関する能力問題や将来の進路についての悩みや不安を抱えている。

「看護職としての適性」と「学業に関する能力問題」では、1・2年生よりも3・4年生が高い傾向を示していた。3・4年生は臨地実習がすすみ、専門性が追求される一方で自己の課題も明確になる時期であることが影響していると考えられる。

表 6 - 3 悩みや不安 (学年別)

		看護婦としての適性	学業に関する能力問題	健康について	人生観について	将来の進路	友人との人間関係	異性問題	家族や家庭内のこと	経済的な問題	課外活動	その他	合計
学年	1年	29 54.7	28 52.8	9 17.0	14 26.4	22 41.5	32 60.4	14 26.4	10 18.9	12 22.6	7 13.2	3 5.7	53 100.0
	2年	30 57.7	29 55.8	12 23.1	12 23.1	27 51.9	24 46.2	17 32.7	13 25.0	10 19.2	9 17.3		52 100.0
	3年	35 63.6	31 56.4	18 32.7	20 36.4	33 60.0	35 63.6	25 45.5	19 34.5	16 29.1	9 16.4	2 3.6	55 100.0
	編入3年	5 29.4	12 70.6	2 11.8	10 58.8	14 82.4	12 70.6	5 29.4	5 29.4	5 29.4			17 100.0
	4年	24 64.9	26 70.3	13 35.1	15 40.5	21 56.8	24 64.9	19 51.4	17 45.9	12 32.4	3 8.1	1 2.7	37 100.0
	編入4年	7 30.4	15 65.2	7 30.4	8 34.8	15 65.2	15 65.2	8 34.8	9 39.1	7 30.4	3 13.0	1 4.3	23 100.0
	合計	130 54.9	141 59.5	61 25.7	79 33.3	132 55.7	142 59.9	88 37.1	73 30.8	62 26.2	31 13.1	7 3.0	237 100.0

通学別に悩みや不安について比較すると(図6-3)、全般的な傾向は似通っていたが、「看護婦としての適性」「将来の進路」「学業に関する能力問題」は、自宅通学者の方が若干悩みや不安の回答が多く、「健康について」「人生観について」「異性問題」「家族や家庭内のこと」「経済的なこと」では、自宅外通学者に若干回答が多かった。

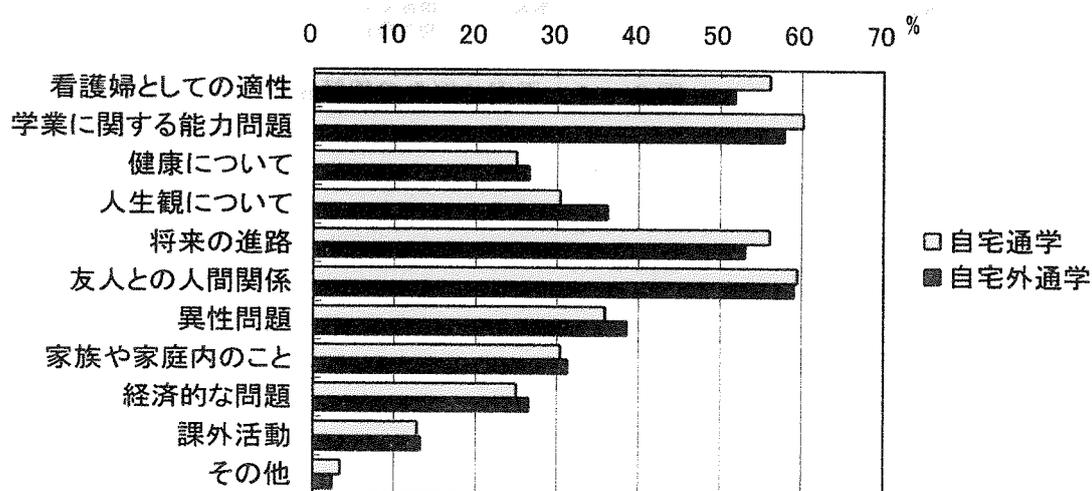


図 6 - 3 悩みや不安 (通学別)

不安や悩みの相談相手として、最も回答の多かったものは「友人」92人(63.9%)、次いで「家族」17人(11.8%)、「大学の教員」4人(2.8%)、「大学の健康管理担当教員」3人(2.1%)、「恩師や先輩」1人(0.7%)、「カウンセラー」1人(0.7%)であった(図6-4)。「誰にも相談しない」と回答した学生20名(13.9%)もいた。前回の調査結果では、回答者の割合が多かったものは「友人」62.8%、「家族」17.8%と今回の調査と同じであるが、回答数が減少したものは、「恩師や先輩」(前回1.9%)で、逆に回答数が増加したものは「大学の教職員」(前回0.6%)であった。携帯電話やe-mailなどの普及に伴い、容易に友人と連絡や相談ができる環境が反映していると思われるが、一方では「友人との関係」に悩みや不安を抱えている割合も多く、人間関係が複雑化していると思われる。また、恩師や先輩など自分から働きかけて人間関係を深めるといった関係づくりは減り、いつでも身近に対応してくれる大学の教職員に相談する学生が増えていた。悩みや不安の相談相手を学年別で比較すると、いずれも「友人」が多かった(表6-4)。

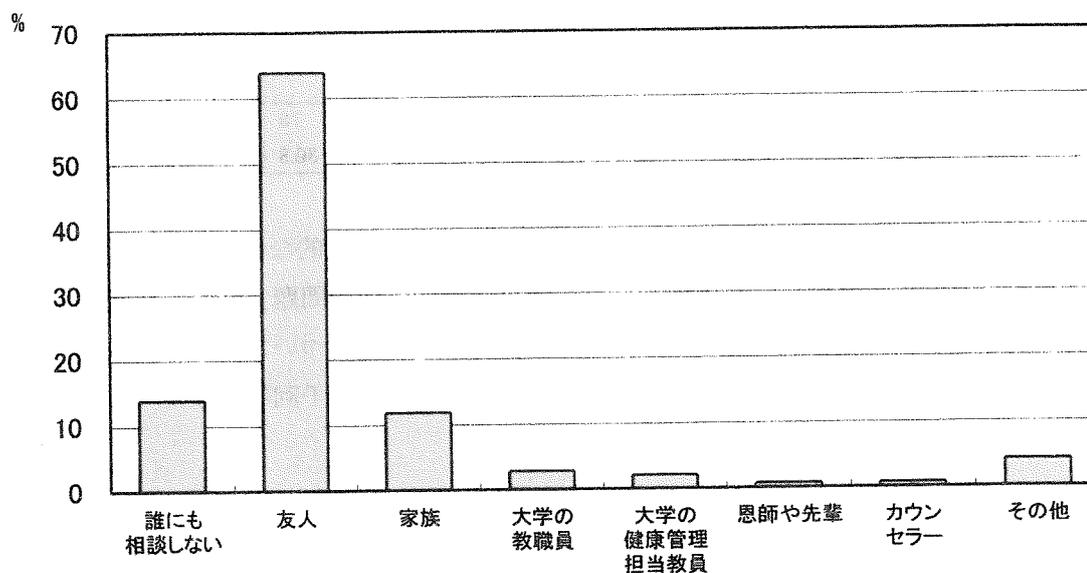


図6-4 不安や悩みの相談相手

表 6 - 4 不安や悩みの相談相手（学年別）

		誰にも 相談し ない	友人	家族	大学の 教職員	大学の 健康管 理担当 教員	恩師や 先輩	カウ ンセ ラー	その他	合計
学年	1年	5 13.9	24 66.7	6 16.7	1 2.8					36 100.0
	2年	4 14.8	17 63.0	3 11.1	1 3.7				2 7.4	27 100.0
	3年	5 17.2	18 62.1	2 6.9		1 3.4	1 3.4		2 6.9	29 100.0
	編入3 年	1 11.1	7 77.8					1 11.1		9 100.0
	4年	2 7.1	16 57.1	5 17.9	1 3.6	2 7.1			2 7.1	28 100.0
	編入4 年	3 20.0	10 66.7	1 6.7	1 6.7					15 100.0
合計		20 13.9	92 63.9	17 11.8	4 2.8	3 2.1	1 0.7	1 0.7	6 4.2	144 100.0

カウンセラーを設置している学生相談室を利用した学生の割合は、「利用した」12人(4.2%)、「利用していない」276人(95.8%)であった(表6-5)。利用した人の割合を前回の調査結果(前回1.8%)と比較すると、相談室を利用する学生が増えていた。

学年別では、編入生が学生相談室を利用する割合が多い傾向を示していた。編入生の悩みや不安の回答内容で、「将来の進路」や「学業に関する能力問題」など、自分自身の生き方や能力に関するものを挙げていることも影響していると思われる。

表 6 - 5 学生相談室の利用（学年別）

		利用した	利用して いない	合計
学年	1年	1 1.3	76 98.7	77 100.0
	2年	2 3.3	59 96.7	61 100.0
	3年	4 6.3	59 93.7	63 100.0
	編入3年	2 9.1	20 90.9	22 100.0
	4年	1 2.6	38 97.4	39 100.0
	編入4年	2 7.7	24 92.3	26 100.0
合計		12 4.2	276 95.8	288 100.0

学生相談室の今後の利用の意向を表6-6に示す。「利用したい」18人(6.3%)、「できれば利用したい」66人(23.2%)でこの2項目を併せて利用の意向がみられる者の割合は29.5%であり、「あまり利用したくない」43人(15.1%)、「利用したくない」24人(8.4%)の2項目を併せて利用の意向があまりみられない者の割合は23.5%であった。「わからない」と回答した者は134人(47.0%)であった。どのような内容を相談したいと考えているかは不明であるが、約30%の学生は学生相談室を利用したいと考えている。80%の学生が学生生活に悩みや不安があると回答していたことから、学生が1人で悩みを抱え込まず気軽に相談できる場として活用されることが臨まれる。学生相談室に関する利用案内は入学時に行っており、必要と思われる場合はその都度、クラス担任や保健師が学生相談室の利用をすすめている。また、カウンセラーからのメッセージを掲示するなど、学生への広報活動を今後も継続し相談室の利用を促していくことが必要である。

表6-6 学生相談室の今後の利用意向（学年別）

		利用したい	できれば利用したい	あまり利用したくない	利用したくない	わからない	合計
学年	1年	3 3.9	15 19.7	12 15.8	6 7.9	40 52.6	76 100.0
	2年	5 8.2	16 26.2	12 19.7	5 8.2	23 37.7	61 100.0
	3年	3 4.8	20 31.7	8 12.7	4 6.3	28 44.4	63 100.0
	編入3年	3 14.3	4 19.0	2 9.5	2 9.5	10 47.6	21 100.0
	4年	1 2.6	5 13.2	5 13.2	6 15.8	21 55.3	38 100.0
	編入4年	3 11.5	6 23.1	4 15.4	1 3.8	12 46.2	26 100.0
合計	18 6.3	66 23.2	43 15.1	24 8.4	134 47.0	285 100.0	

## 7. 大学生活全般について

### 1) 本学を選択した理由

回答が得られた288名が本学を選んだ理由として、最も回答が多かった項目は、「大学の特色」の161名(55.9%)であった。次いで、「就職や将来のことを考えて」が158名(54.9%)、「周囲のアドバイス」75名(26.0%)、「大学の立地条件が良いため」65名(22.6%)、「奨学金制度が充実しているから」33名(11.5%)であり、「その他」は39名(13.5%)であった。2000年の調査では「大学の特色」は76名(34.1%)であったのに比べ、今回の調査ではその割合が大幅に増加していることがわかる。全国的に看護系大学の数が増え、優秀な学生の獲得競争が激化する中、各大学がそれぞれの特色の積極的なアピールを展開しているため、学生はそれを判断材料として進学先を選択する傾向が強まっていることの表れではないかと考えられる(表7-1)。

表7-1 本学を選択した理由(学年別:複数回答)

		大学の特色	奨学金制度が充実しているから	就職や将来のことを考えて	大学の立地条件が良いため	周囲のアドバイス	その他	合計
学年	1年	45 57.7	17 21.8	50 64.1	14 17.9	18 23.1	5 6.4	78 100.0
	2年	36 59.0	6 9.8	33 54.1	20 32.8	12 19.7	13 21.3	61 100.0
	3年	28 44.4	7 11.1	38 60.3	16 25.4	19 30.2	10 15.9	63 100.0
	編入3年	13 61.9		7 33.3	3 14.3	4 19.0	3 14.3	21 100.0
	4年	20 51.3	2 5.1	18 46.2	8 20.5	15 38.5	7 17.9	39 100.0
	編入4年	19 73.1	1 3.8	12 46.2	4 15.4	7 26.9	1 3.8	26 100.0
合計		161 55.9	33 11.5	158 54.9	65 22.6	75 26.0	39 13.5	288 100.0

### 2) 入学満足度

本学へ入学してからの満足度については、「よかったと思う」と答えた学生が最も多く223名(77.2%)であった。一方、「よかったとはいえない」は16名(5.5%)、「どちらともいえない」は50名(17.3%)であった。2000年の「よかった」67.3%に比べて、現在の在学学生の方が本学への入学を肯定的に受けとめている傾向にあった。

学年別に見ると、入学満足度は学年によって大きく異なり、1年生は「よかったと思う」53名(67.9%)と答えた者の割合が他の学年に比べて低く、また「よかったとはいえない」は10名(12.8%)と、入学満足度が低い傾向にあった(表7-2)。

表7-2 入学満足度（学年別）

		よかった と思う	よかった とはいえ ない	どちらと もいえな い	合計
学年	1年	53 67.9	10 12.8	15 19.2	78 100.0
	2年	49 80.3	2 3.3	10 16.4	61 100.0
	3年	49 77.8	1 1.6	13 20.6	63 100.0
	編入3年	18 81.8		4 18.2	22 100.0
	4年	30 76.9	3 7.7	6 15.4	39 100.0
	編入4年	24 92.3		2 7.7	26 100.0
合計		223 77.2	16 5.5	50 17.3	289 100.0

3) 勉強の継続についての意向

本学で勉強を続けることについては、「このまま勉強を続ける」と答えた学生が276名（96.2%）と大多数を占めた。しかし少数ではあるが、「他の看護系大学へ転学したい」5名（1.7%）、「専攻を変えたい」5名（1.7%）、「辞めたい」1名（0.3%）と答えた学生もみられた（表7-3）。2000年の調査同様、看護学を学ぶこと、あるいは看護職に従事することに対する迷いは少ない傾向にあると考えられる。

表7-3 勉強の継続意向（学年別）

		このまま 勉強を続 ける	他の看 護系大 学へ転 学したい	専攻を変 えたい	辞めたい	合計
学年	1年	73 93.6	3 3.8	2 2.6		78 100.0
	2年	59 96.7	1 1.6		1 1.6	61 100.0
	3年	62 98.4		1 1.6		63 100.0
	編入3年	22 100.0				22 100.0
	4年	36 97.3		1 2.7		37 100.0
	編入4年	24 92.3	1 3.8	1 3.8		26 100.0
合計		276 96.2	5 1.7	5 1.7	1 0.3	287 100.0

4) 大学生活の中で大切に思っていること

「専門的知識や技術を習得する」が最も多く190名（68.6%）を占めた。次いで、「交友関係」162名（58.5%）、「教養を深める」124名（44.8%）、「自由を満喫する」49名（17.7%）、「クラブ・サークル等で活躍する」7名（2.5%）、「その他」6名（2.2%）であった（表7-4）。

表7-4 大学生活の中で大切に思っていること（学年別：複数回答）

		専門的 知識や 技術を習 得する	教養を深 める	クラブ・ サークル 等で活躍 する	自由を満 喫する	交友関 係	その他	合計
学年	1年	54 74.0	32 43.8	2 2.7	10 13.7	40 54.8	2 2.7	73 100.0
	2年	41 69.5	19 32.2	1 1.7	10 16.9	45 76.3		59 100.0
	3年	43 72.9	19 32.2	2 3.4	9 15.3	37 62.7	3 5.1	59 100.0
	編入3年	13 59.1	14 63.6	1 4.5	7 31.8	7 31.8		22 100.0
	4年	26 66.7	20 51.3	1 2.6	8 20.5	21 53.8	1 2.6	39 100.0
	編入4年	13 52.0	20 80.0		5 20.0	12 48.0		25 100.0
	合計	190 68.6	124 44.8	7 2.5	49 17.7	162 58.5	6 2.2	277 100.0

5) 学生生活の充実度

大学生活の充実度は、「やや充実している」と回答した学生が134名（46.5%）で最も多かった。次いで、「とても充実している」84名（29.2%）、「どちらともいえない」42名（14.6%）、「あまり充実していない」25名（8.7%）の順であった。一方、「全く充実していない」と答えた学生も3名（1.0%）いた（表7-5）。2000年の調査で「充実している」と回答した学生は147名（66.9%）であったのに比べ、今回の調査では218名（75.7%）と割合が増えたことがわかる。学年別にみると、2年生に「充実していない」が多く、編入生には「充実している」と答える学生が多かった。

表 7-5 学生生活の充実度（学年別）

		とても充実している	やや充実している	どちらともいえない	あまり充実していない	まったく充実していない	合計
学年	1年	10 13.0	45 58.4	14 18.2	7 9.1	1 1.3	77 100.0
	2年	29 47.5	18 29.5	6 9.8	6 9.8	2 3.3	61 100.0
	3年	16 25.4	29 46.0	11 17.5	7 11.1		63 100.0
	編入3年	11 50.0	7 31.8	4 18.2			22 100.0
	4年	9 23.1	22 56.4	4 10.3	4 10.3		39 100.0
	編入4年	9 34.6	13 50.0	3 11.5	1 3.8		26 100.0
合計	84 29.2	134 46.5	42 14.6	25 8.7	3 1.0	288 100.0	

6) 大学に対する期待や要望

「カリキュラムの改善」が最も多く155名（55.4%）であり、次いで「授業内容の改善」が136名（48.6%）と正課に関連する項目が多数を占めた。さらに、「正課関連施設・設備の改善」93名（33.2%）、「教授陣の充実」81名（28.9%）、「福利厚生施設・設備の改善」63名（22.5%）の順に多く、「講演会、教養講座等課外教育プログラムの充実」32名（11.4%）についても、要望・期待がみられた。2000年の調査では、123名（54.7%）と最も多かった「福利厚生施設・設備の改善」や、「正課関連施設・設備の改善」87名（38.7%）の割合が減少したのは、大学生協が発足し、購買部や食堂が整備されたことや新校舎の落成などに伴い、学習環境が改善された影響によるものと推測される。

## 8. 卒業後の進路について

卒業後の進路希望は、「病院等に就職」と答えた学生が284名中228名（80.3%）と最も多く、これに「保健所・保健センターに就職」7名（2.5%）、「企業・自治体に就職」3名（1.1%）を合わせると、卒業後専門職者として現場で働くことを考えている学生の割合は83.9%であった。「大学院への進学希望者」は7名（2.5%）、「助産師学校に進学」6名（2.1%）、「他大学に進学」2名（0.7%）であったが、「まだ決めていない・分からない」と答えた学生は27名（9.5%）であった（表8-1）。

学年別にみると、「まだ決めていない・分からない」と回答した者の割合は、編入3年生が4名（18.2%）、編入4年生が3名（11.5%）、学部2年生が7名（11.5%）の順に多く、学部3・4年生のそれぞれ4名（6.6%）、1名（2.6%）に比して、高い値を示していた。この傾向は、先に述べた「入学してから今までの悩みや不安」の内容において、編入生に「将来の進路」を挙げる者の割合が高かったこととも関連しているのであろうか。

2000年の結果と比べると、卒後看護専門職として就職希望する者の割合は72.6%から83.9%へと増加している。こうした傾向は、近年、国内の看護系大学卒業整数の大幅な増加に伴い、大卒者の活躍の場が必ずしも教育・研究分野だけではなく、臨床へと広がってきたこと、また、本学では大学院進学条件として臨床経験2年間を課していることなどが原因として推測される。

表8-1 卒業後の進路希望について（学年別）

		病院等に就職	企業・自治体に就職	大学院に進学	他大学に進学	助産師学校に進学	保健所・保健センターに就職	専業主婦(夫)	まだ決めていない・わからない	その他	合計
学年	1年	60 80.0			1 1.3	1 1.3	2 2.7	1 1.3	8 10.7	2 2.7	75 100.0
	2年	48 78.7			1 1.6	2 3.3	2 3.3		7 11.5	1 1.6	61 100.0
	3年	55 90.2		1 1.6		1 1.6			4 6.6		61 100.0
	編入3年	10 45.5	1 4.5	4 18.2		2 9.1	1 4.5		4 18.2		22 100.0
	4年	36 92.3	2 5.1						1 2.6		39 100.0
	編入4年	19 73.1		2 7.7			2 7.7		3 11.5		26 100.0
	合計	228 80.3	3 1.1	7 2.5	2 0.7	6 2.1	7 2.5	1 0.4	27 9.5	3 1.1	284 100.0

また、就職したい病院は、「日赤系の病院」が162名（72.6%）と最も高い割合を占め、2000年の調査時の85名（56.3%）に比して、大幅に増加している。次いで、「国公立・私立の大学病院」が39名（17.5%）と、卒後教育や設備等の充実している大規模病院に集中

している傾向にあった（表8-2）。

表8-2 就職したい病院（学年別）

		日赤系の病院	国公立の病院	国公立または私立の大学病院	その他の病院	その他	合計
学年	1年	43 75.4	2 3.5	8 14.0	1 1.8	3 5.3	57 100.0
	2年	41 87.2		4 8.5		2 4.3	47 100.0
	3年	40 72.7	1 1.8	10 18.2	2 3.6	2 3.6	55 100.0
	編入3年	7 70.0		2 20.0	1 10.0		10 100.0
	4年	23 65.7	1 2.9	8 22.9	3 8.6		35 100.0
	編入4年	8 42.1	2 10.5	7 36.8	2 10.5		19 100.0
合計		162 72.6	6 2.7	39 17.5	9 4.0	7 3.1	223 100.0

# 附 録

(調査票)



## = 学生の生活実態調査 =

2005.12

### 調査の目的

この調査は、皆さんの現在の生活の実態を知り、大学生活をよりよいものにするために行うものです。本調査の目的以外に調査結果を使用することはありませんし、個人が特定されることはありませんので、ありのままをご回答ください。また、調査結果については、後日お知らせいたします。

日本赤十字看護大学 学生委員会

質問1. 現在、住んでいる住居の種類についてお聞きします。下記の項目の中から一つ選んで○をつけてください。

- |               |   |          |
|---------------|---|----------|
| 1. 自宅         | → | (質問2)へ   |
| 2. 下宿         | → | (質問1-1)へ |
| 3. アパート・マンション | → | (質問1-2)へ |
| 4. その他(具体的に   | ) | → (質問2)へ |

質問1-1. [質問1で2.下宿]と回答した学生にお聞きします。

あなたの部屋の居住状態はどの様になっていますか。

下記の、A)～E)の各項目について、それぞれあてはまるものを一つ選んで番号に○をつけてください。

A) 間取りについて

- |         |       |       |             |   |
|---------|-------|-------|-------------|---|
| 1. 4.5畳 | 2. 6畳 | 3. 8畳 | 4. その他(具体的に | ) |
|---------|-------|-------|-------------|---|

B) お風呂の有無

- |           |             |          |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 個人用がある | 2. 共同のものがある | 3. 風呂は無い |
|-----------|-------------|----------|

C) トイレについて

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1. 個人用がある | 2. 共同のものがある |
|-----------|-------------|

D) 台所の有無

- |           |             |          |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 個人用がある | 2. 共同のものがある | 3. 台所は無い |
|-----------|-------------|----------|

E) 食事について

- |             |         |            |
|-------------|---------|------------|
| 1. 2食付き     | 2. 1食付き | 3. 食事は付かない |
| 4. その他(具体的に | )       |            |

質問1-2. 【質問1で3.アパート・マンション】に回答した学生にお聞きします。

居住状態はどの様になっていますか。

下記のA)～E)の各項目について、それぞれあてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

A) 間取りについて

- |           |             |            |
|-----------|-------------|------------|
| 1. ワンルーム  | 2. 1K～1DK   | 3. 2K～2LDK |
| 4. 3LDK以上 | 5. その他(具体的に | )          |

1Kとは流し場付きワンルームのこと

B) お風呂の有無

- |           |             |          |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 個人用がある | 2. 共同のものがある | 3. 風呂は無い |
|-----------|-------------|----------|

C) トイレについて

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1. 個人用がある | 2. 共同のものがある |
|-----------|-------------|

D) 台所の有無

- |           |             |          |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 個人用がある | 2. 共同のものがある | 3. 台所は無い |
|-----------|-------------|----------|

E) 同居人について

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

### 【全員の方へ】

質問2. あなたは、現在の住居について満足していますか。下記の中からあてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1. 満足している    | → (質問3)へ   |
| 2. 満足していない   | → (質問2-1)へ |
| 3. どちらともいえない | → (質問3)へ   |

質問2-1. 【質問2で2.満足していない】を選択した方にお聞きします。

満足していない理由について、該当する項目全てに○をつけてください。

- |             |            |       |
|-------------|------------|-------|
| 1. 学校から遠い   | 2. 築年数が古い  | 3. 狭い |
| 4. 家賃が高い    | 5. 周囲が騒がしい |       |
| 6. その他(具体的に |            | )     |

↓

次のページへ

質問3. 現在のあなたの1ヶ月の平均的な経済生活などについてお聞きします。なお、以下の項目は全て学校納付金を除く経済生活とします。A)～K)の各項目について、それぞれあてはまるもの一つを選んで○をつけてください。

A) 食費（自宅通学者は外食費）

1. ～9,999円	2. 10,000～19,999円	3. 20,000～29,999円
4. 30,000～39,999円	5. 40,000～49,999円	6. 50,000円～

B) 住居費（家賃、光熱水費を含む）<自宅通学者は除く>

1. ～29,999円	2. 30,000～49,999円	3. 50,000～69,999円
4. 70,000～89,999円	5. 90,000～109,999円	6. 110,000円～

C) 勉学費（学納金を除いた書籍、文具、コピー等に要する経費）

1. ～4,999円	2. 5,000～9,999円	3. 10,000～14,999円
4. 15,000～19,999円	5. 20,000円～	

D) 娯楽・嗜好品費（煙草・酒・レジャーなど）

1. ～4,999円	2. 5,000～9,999円	3. 10,000～14,999円
4. 15,000～19,999円	5. 20,000円～	

E) 習い事の費用（英会話・ダンス・茶道・華道等）

1. ～4,999円	2. 5,000～9,999円	3. 10,000～14,999円
4. 15,000～19,999円	5. 20,000円～	

F) 通学費

1. 0円	2. 1～4,999円	3. 5,000～9,999円
4. 10,000～14,999円	5. 15,000～19,999円	6. 20,000円～

G) 通信費（携帯電話・インターネット契約、接続料等を含む）

1. ～999円	2. 1,000～4,999円	3. 5,000～9,999円
4. 10,000～14,999円	5. 15,000～19,999円	6. 20,000～24,999円
7. 25,000～29,999円	8. 30,000～34,999円	9. 35,000～39,999円
10. 40,000～44,999円	11. 45,000～49,999円	12. 50,000円～

H) 総支出額（A）～G)を加算したもの。学校納付金を除く。）

1. ～29,999円	2. 30,000～59,999円	3. 60,000～89,999円
4. 90,000～119,999円	5. 120,000～149,999円	6. 150,000～179,999円
7. 180,000～209,999円	8. 210,000～239,999円	9. 240,000～269,999円
10. 270,000～299,999円	11. 300,000円～	

I) 家族からの援助額 (生活費として)

1. ~29,999 円	2. 30,000~ 59,999 円	3. 60,000~ 89,999 円
4. 90,000~119,999 円	5. 120,000~149,999 円	6. 150,000~179,999 円
7. 180,000~209,999 円	8. 210,000~239,999 円	9. 240,000~269,999 円
10. 270,000~299,999 円	11. 300,000 円~	

J) 現在受けている奨学金の種類

1. 日本赤十字社医療センター
2. 日本赤十字社都道府県支部および赤十字病院
3. 日本学生支援会 (日本育英会)
4. その他 (具体的に )
5. 受けていない

質問 4. アルバイトについてお聞きします。大学に入学してから、アルバイトをしたことがありますか。(○は一つ)

1. ある → (質問 4-1) へ
2. ない → (質問 5) へ

質問 4-1. [質問 4 で 1. ある]と回答した学生にお聞きします。

アルバイトの状況等についてお聞きします。下記の A) ~G) の各項目について、それぞれお答えください。

A) 入学以来、アルバイトをどのようにしていましたか。一つだけ選んで○をつけてください。

1. 長期休暇のみ	2. 授業期間中ときどき	3. 授業期間いつも
4. 授業、実習期間いつも	5. 長期休暇中及び授業期間いつも	
6. その他 (具体的に )		

B) アルバイトの主な目的はなんですか。該当する項目全てに○をつけてください。

1. 学費及び勉学費を得る	2. 生活費を得る
3. クラブ活動・習い事等の費用を得る	4. 娯楽・嗜好品費を得る
5. 高額商品を購入する	6. 社会勉強
7. 友人を作る	8. 時間が空いているため
9. 通信費	
10. その他 (具体的に )	



次のページへ

【C)～G)は、授業期間中にアルバイトをしたことのある学生への質問です。授業期間中にはアルバイトをしたことがない学生は、H)に進んでください。】

C) 授業期間中の1週間の平均アルバイト日数はどのくらいですか。一つだけ選んで○をつけてください。

- |       |       |         |         |         |
|-------|-------|---------|---------|---------|
| 1. 0日 | 2. 1日 | 3. 2～3日 | 4. 4～5日 | 5. 6～7日 |
|-------|-------|---------|---------|---------|

D) 授業期間中の1回の平均アルバイト時間はどのくらいですか。一つだけ選んで○をつけてください。

- |                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 2時間未満       | 2. 2時間以上～3時間未満 | 3. 3時間以上～4時間未満 |
| 4. 4時間以上～5時間未満 | 5. 5時間以上～6時間未満 | 6. 6時間以上       |
| 7. その他 (       | )              |                |

E) 授業期間中の1時間当りの平均アルバイト賃金はどのくらいですか。一つだけ選んで○をつけてください。

- |                 |                 |                 |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. ～599円        | 2. 600～799円     | 3. 800～999円     |
| 4. 1,000～1,199円 | 5. 1,200～1,399円 | 6. 1,400～1,599円 |
| 7. 1,600～1,799円 | 8. 1,800～1,999円 |                 |
| 9. 2,000円～      | [具体的に           | 円]              |

F) 授業期間中の1ヶ月のアルバイト収入額はいくらですか。一つだけ選んで○をつけてください。

- |                    |                   |                   |
|--------------------|-------------------|-------------------|
| 1. ～9,999円         | 2. 10,000～19,999円 | 3. 20,000～29,999円 |
| 4. 30,000～39,999円  | 5. 40,000～49,999円 | 6. 50,000～59,999円 |
| 7. 60,000～69,999円  | 8. 70,000～79,999円 | 9. 80,000～89,999円 |
| 10. 90,000～99,999円 | 11. 100,000円～     |                   |

G) 授業期間中のアルバイトについて、該当する項目全てに○をつけてください。

- |                         |         |               |
|-------------------------|---------|---------------|
| 1. 家庭教師・塾講師             | 2. 事務職種 | 3. 販売業 (レジなど) |
| 4. 接客業 (ウェイター・ウエイトレスなど) |         |               |
| 5. 看護師・助産師・看護助手・介護ヘルパー  |         |               |
| 6. その他 (具体的に            | )       |               |

【H)は、長期休暇中にアルバイトをしたことのある学生への質問です。長期休暇中にはアルバイトをしたことがない学生は、質問5に進んでください。】

H) 長期休暇中のアルバイトについて、該当する項目全に○をつけてください。

- |                         |         |               |
|-------------------------|---------|---------------|
| 1. 家庭教師・塾講師             | 2. 事務職種 | 3. 販売業 (レジなど) |
| 4. 接客業 (ウェイター・ウエイトレスなど) |         |               |
| 5. 看護師・助産師・看護助手・介護ヘルパー  |         |               |
| 6. その他 (具体的に            | )       |               |

【全員の学生にお聞きします。】

質問5. あなたは、現在、課外活動（学内外）に参加していますか。（○はひとつ）

1. 加入し、活動している 2. 加入のみで、活動していない 3. 以前加入していたがやめた 4. 最初から加入していない →	→	(質問5-1) へ
		(質問5-2) へ

質問5-1. 「質問5」で1～3と回答した学生にお聞きします。

課外活動について下記の＜A～C＞の各項目についてそれぞれ回答してください。

A) 加入している（していた）学内のサークル・同好会名を具体的にいくつでも記入してください。

例：バレーボール部

--	--	--

B) 加入している（していた）学外のサークル・同好会・ボランティア団体名を具体的にいくつでも記入してください。

例：バレーボール部

--	--	--

C) 課外活動に参加した目的は何ですか。該当する項目全てに○をつけてください。

1. 友人を得るため	2. 知識・教養・技術等を身につけるため
3. 人格形成のため	4. 興味・関心があったから
5. 楽しむため	6. 健康増進のため
7. その他（具体的に	）

質問5-2. 「質問5で4. 最初から加入していない」と回答した学生にお聞きします。

課外活動に参加したことのない、主な理由を一つ選んで○をつけてください。

1. 課外活動に興味がない	2. 興味ある課外活動がない
3. 学業と両立しない	4. アルバイトがあるから
5. 通学時間が長いから	6. キャンパス間の移動が大変なため
7. その他（	）

質問5-3. 「質問5で3. 以前加入していたがやめた」と回答した学生にお聞きします。

課外活動を途中でやめた主な理由を一つ選んで○をつけてください。

1. 課外活動に興味なくなった	
2. 課外活動の方針への不満や人間関係上のトラブル	
3. 学業と両立しない	4. アルバイトがあるから
5. 通学時間が長いから	6. キャンパス間の移動が大変なため
7. その他（	）

【全員の学生にお聞きします。】

質問5-4. 以下のA)～C)についてそれぞれお答えください。

A) 本年度の夏期休暇の主な行動について、該当する項目全てに○をつけてください。

- |                |          |               |
|----------------|----------|---------------|
| 1. 国内旅行        | 2. 海外旅行  | 3. 自動車等の免許の取得 |
| 4. 合宿          | 5. 研究や勉強 | 6. アルバイト      |
| 7. ボランティア活動    |          |               |
| 8. その他 (具体的に ) |          |               |

B) 大学入学以来、技術や資格等の獲得のために学外の学校に通ったことがありますか。  
(○は一つ)

- |                 |
|-----------------|
| 1. ある → (B-1) へ |
| 2. ない → (C) へ   |

B-1) [B] で 1. ある と回答した学生にお聞きします。

学外の学校でどのような講座を受講しましたか。下記の講座で該当する項目全てに○をつけてください。

- |                     |                     |       |
|---------------------|---------------------|-------|
| 1. 語学               | 2. スポーツ・エアロビクス・ダンス等 |       |
| 3. 各種資格の予備校 (資格名: ) |                     |       |
| 4. 茶道・華道            | 5. 料理               | 6. 音楽 |
| 7. その他 (具体的に )      |                     |       |

【全員の学生にお聞きします。】

C) 現在大学で主催している課外教育プログラムも含めて、今後どのようなプログラムを希望しますか。最も希望するものを一つ選んで○をつけてください。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 教養講座等の講演会   | 2. 映画鑑賞        |
| 3. 音楽鑑賞        | 4. ハイキング・キャンプ等 |
| 5. スポーツ講習会等    | 6. 海外研修        |
| 7. 救急法の講習会     |                |
| 8. その他 (具体的に ) |                |

質問6. 学期中の平日 (月～金曜日) 1日の生活時間についてお聞きします。

A)～E) の項目毎に、それぞれあてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

A) 睡眠時間は

A-1) 実習がない期間

- |               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 3時間未満      | 2. 3時間以上4時間未満 | 3. 4時間以上5時間未満 |
| 4. 5時間以上6時間未満 | 5. 6時間以上7時間未満 |               |
| 6. 7時間以上8時間未満 | 7. 8時間以上      |               |

A-2) 実習期間中

- |                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 3時間未満       | 2. 3時間以上～4時間未満 | 3. 4時間以上～5時間未満 |
| 4. 5時間以上～6時間未満 | 5. 6時間以上～7時間未満 |                |
| 6. 7時間以上～8時間未満 | 7. 8時間以上       |                |

B) 学習時間は

- |                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 1時間未満       | 2. 1時間以上～2時間未満 | 3. 2時間以上～3時間未満 |
| 4. 3時間以上～4時間未満 | 5. 4時間以上       |                |

C) 自由時間 (TV・音楽・電話等) は

- |                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 1時間未満       | 2. 1時間以上～2時間未満 | 3. 2時間以上～3時間未満 |
| 4. 3時間以上～4時間未満 | 5. 4時間以上       |                |

D) 通学時間 (片道) は

- |                 |                |                |
|-----------------|----------------|----------------|
| 1. 30分未満        | 2. 30分以上～60分未満 | 3. 60分以上～90分未満 |
| 4. 90分以上～120分未満 | 5. 120分以上      |                |

E) 課外活動時間は

- |                |                |                |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 1時間未満       | 2. 1時間以上～2時間未満 | 3. 2時間以上～3時間未満 |
| 4. 3時間以上～4時間未満 | 5. 4時間以上       |                |

質問7. 健康状態についてお聞きします。下記の項目から最もあてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. いつも好調で、異常を感じない           |
| 2. 1年に1～2回風邪をひく程度           |
| 3. 3ヶ月に1～2回は病気によって欠席することがある |
| 4. 1ヶ月に1～2回は病気によって欠席することがある |
| 5. 常に疲労感や不調を感じている           |
| 6. 治療している病気がある (具体的に )      |
| 7. その他 (具体的に )              |

質問8. 入学してから今までに、悩みや不安はありましたか。

- |                         |
|-------------------------|
| 1. あった (ある) → (質問8-1) へ |
| 2. なかった (ない) → (質問9) へ  |

質問8-1. [質問8で1. あった (ある)] と回答した学生にお聞きします。

A) どんな悩みや不安がありましたか (ありますか)。下記で該当する項目全てに○をしてください。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 看護師としての適性    | 2. 学業に関する能力的問題 |
| 3. 健康について       | 4. 人生観について     |
| 5. 将来の進路        | 6. 友人との人間関係    |
| 7. 異性問題         | 8. 家族や家庭内のこと   |
| 9. 経済的な問題       | 10. 課外活動       |
| 11. その他 (具体的に ) |                |

B) その悩みや不安を誰に相談しましたか。下記の項目のなかで最もあてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

- |             |                |       |
|-------------|----------------|-------|
| 1. 誰にも相談しない | 2. 友人          | 3. 家族 |
| 4. 大学の教職員   | 5. 大学の健康管理担当教員 |       |
| 6. 恩師や先輩    | 7. カウンセラー      |       |
| 8. その他（具体的に |                | )     |

【全員の学生にお聞きします。】

質問 9. 大学が学生相談室を設置しましたが、あなたは利用しましたか。

- |         |            |
|---------|------------|
| 1. 利用した | 2. 利用していない |
|---------|------------|

質問 10. 今後、学生相談室をあなたは利用したいと思いますか。あてはまるもの1つを選んで○をつけてください。

- |            |              |               |
|------------|--------------|---------------|
| 1. 利用したい   | 2. できれば利用したい | 3. あまり利用したくない |
| 4. 利用したくない | 5. わからない     |               |

質問 11. 次に大学生生活についてお聞きします。

A) 本学を選んだ理由は何ですか。該当する項目全てに○をつけてください。

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 大学の特色（教育内容や専攻分野など） | 2. 奨学金制度が充実しているから |
| 3. 就職や将来のことを考えて       | 4. 大学の立地条件が良いため   |
| 5. 周囲のアドバイス           |                   |
| 6. その他（具体的に           | )                 |

B) 本学に入学してよかったと思いますか。最もあてはまるもの一つに○をつけてください。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. よかったと思う   | 2. よかったとはいえない |
| 3. どちらともいえない |               |

C) 本学での勉学を続けることについてどのように考えていますか。最もあてはまるものを一つ選んで○をつけてください。

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. このまま勉学を続ける | 2. 他の看護系大学へ転学したい |
| 3. 専攻を変えたい    | 4. 辞めたい          |

D) 大学生活の中であなたが大切だと思っていることは何ですか。

主なもの2つ以内で選んで○をつけてください。

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| 1. 専門的知識や技術を習得する  | 2. 教養を深める  |
| 3. クラブ・サークル等で活躍する | 4. 自由を満喫する |
| 5. 交友関係           |            |
| 6. その他（具体的に       | )          |

E) あなたの学生生活は充実していますか。最もあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- |               |                |              |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. とても充実している  | 2. やや充実している    | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり充実していない | 5. まったく充実していない |              |

F) 大学に対して特に期待や要望することについて、下記の項目の中から**3つ以内**で選んで○をつけてください。

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 1. 教授陣の充実                       |   |
| 2. カリキュラムの改善                    |   |
| 3. 授業内容の改善                      |   |
| 4. 講演会、教養講座等課外教育プログラムの充実        |   |
| 5. 正課関連施設・設備（例えば、教室や図書館など）の改善   |   |
| 6. 福利厚生施設・設備（例えば、食堂やロッカー室など）の改善 |   |
| 7. 課外活動施設・設備（例えば、部室や自治会室など）の改善  |   |
| 8. 奨学金・貸付金・融資資金等の充実             |   |
| 9. 学生の就職指導の充実                   |   |
| 10. その他（具体的に                    | ) |
| 11. 特にない                        |   |

質問 12. 卒業後の進路希望についてお聞きます。以下の項目の中で最もあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| 1. 病院等に就職 → (質問12-1)へ |   |
| 2. 企業・自治体に就職          |   |
| 3. 大学院に進学             |   |
| 4. 他大学に進学             |   |
| 5. 助産師学校に進学           |   |
| 6. 教育機関（養護教員などを含む）に就職 |   |
| 7. 保健所・保健センターに就職      |   |
| 8. 外国に留学              |   |
| 9. 専業主婦（夫）            |   |
| 10. まだ決めていない・わからない    |   |
| 11. その他（具体的に          | ) |

質問 12-1. **【質問 12 で 1. 病院等に就職】したいと回答した学生にお聞きます。**

どのような病院に就職したいと思っていますか。以下の中から1つだけ選んで○をつけてください。

- |                  |             |   |
|------------------|-------------|---|
| 1. 日赤系の病院        | 2. 国公立の病院   |   |
| 3. 国公立または私立の大学病院 | 4. その他の病院   |   |
| 5. 診療所           | 6. その他（具体的に | ) |

最後に、あなたご自身についてお聞きします。

F 1. あなたの学年は：

1. 1年	2. 2年	3. 3年	4. 編入3年
5. 4年	6. 編入4年		

F 2. あなたの出身地（都道府県名）は：

1. 東京都	2. 神奈川県	3. 埼玉県
4. 千葉県	5. 茨城県	6. 群馬県
7. 栃木県	8. その他（都道府県名	）

— 長時間、調査にご協力いただきましてありがとうございました —

ご記入いただきました調査票は、

**明日までに**  
**学務課前に設置の「学生の生活実態調査 アンケート回収箱」に**  
お入れください。

第4回 学生生活実態調査報告書作成メンバー  
(○は編集委員長)

佐藤 眞 (教授)  
○遠藤 公久 (助教授)  
安達 祐子 (助教授)  
川崎 修一 (講師)  
森 真喜子 (講師)

第4回 学生生活実態調査報告書 2006年度

---

2007年3月31日 発行

編集 日本赤十字看護大学学生委員会

発行 日本赤十字看護大学

東京都渋谷区広尾4-1-3

電話 (03) 3409-0875

制作・印刷 西谷印刷

東京都江東区三好2-1-4

電話 (03) 3630-2007

---